

(様式第 10)

三大医病総第 770 号  
平成 29 年 10 月 3 日

厚生労働大臣 殿

国立大学法人三重大学  
学長 駒田美弘 (印)

三重大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、平成 28 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒514-8507 三重県津市江戸橋2丁目174
氏 名	国立大学法人三重大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

三重大学医学部附属病院
-------------

3 所在の場所

〒514-8507 三重県津市江戸橋2丁目174	電話( 059 ) 232 - 1111
-----------------------------	----------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜
---

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有 ・ 無		
内科と組み合わせた診療科名等			
①呼吸器内科	2 消化器内科	③循環器内科	④腎臓内科
⑤神経内科	⑥血液内科	7 内分泌内科	8 代謝内科
9 感染症内科	10 アレルギー疾患内科またはアレルギー科	11 リウマチ科	
診療実績			

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科	有 ・ 無
外科と組み合わせた診療科名 ①呼吸器外科                      ②消化器外科                      ③乳腺外科                      4心臓外科 5血管外科                      ⑥心臓血管外科                      7内分泌外科                      ⑧小児外科	
診療実績	

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。  
2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科    ②小児科    ③整形外科    ④脳神経外科    ⑤皮膚科    ⑥泌尿器科    ⑦産婦人科 8産科    9婦人科    ⑩眼科    ⑪耳鼻咽喉科    ⑫放射線科    13放射線診断科 14放射線治療科    ⑮麻酔科    ⑯救急科
--

- (注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	有 ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名 1小児歯科    2矯正歯科    ③口腔外科	
歯科の診療体制  歯科医師を有する。	

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。  
2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1消化器・肝臓内科    2腫瘍内科    3糖尿病・内分泌内科    4緩和ケア内科    5病理診断科 6移植外科    7 形成外科
--

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
30床	0床	0床	0床	655床	685床

## 6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	412人	31人	419.7人	看 護 補 助 者	70人	診療エックス線技師	0人
歯 科 医 師	16人	0人	16人	理 学 療 法 士	12人	臨床検査技師	63人
薬 剤 師	60人	1人	60.2人	作 業 療 法 士	3人	衛生検査技師	1人
保 健 師	2人	1人	2.6人	視 能 訓 練 士	7人	そ の 他	0人
助 産 師	35人	2人	36.2人	義 肢 装 具 士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	497人	113人	567.1人	臨 床 工 学 士	24人	医療社会事業従事者	5人
准 看 護 師	1人	4人	3.4人	栄 養 士	0人	その他の技術員	30人
歯科衛生士	2人	0人	2人	歯 科 技 工 士	2人	事 務 職 員	231人
管理栄養士	7人	4人	10.1人	診 療 放 射 線 技 師	41人	そ の 他 の 職 員	38人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

## 7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	49人	眼 科 専 門 医	9人
外 科 専 門 医	49人	耳 鼻 咽 喉 科 専 門 医	7人
精 神 科 専 門 医	7人	放 射 線 科 専 門 医	16人
小 児 科 専 門 医	14人	脳 神 経 外 科 専 門 医	13人
皮 膚 科 専 門 医	7人	整 形 外 科 専 門 医	15人
泌 尿 器 科 専 門 医	10人	麻 酔 科 専 門 医	5人
産 婦 人 科 専 門 医	16人	救 急 科 専 門 医	15人
		合 計	232人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

## 8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 ( 伊藤 正明 ) 任命年月日 平成 28 年 10 月 1 日

医療安全管理にかかる委員会 (医療問題対策委員会、医療の質・倫理検討委員会) の委員としての業務

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	538.7人	11.1人	549.8人
1日当たり平均外来患者数	1254.6人	93.5人	1348.1人
1日当たり平均調剤数	685.1剤		
必要医師数	130.1人		
必要歯科医師数	6.1人		
必要薬剤師数	19人		
必要(准)看護師数	321人		

- (注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	635.0m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	病床数	14床	心電計	有・無
			人工呼吸装置	有・無	心細動除去装置	有・無
			その他の救急蘇生装置	有・無	ペースメーカー	有・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 374m <sup>2</sup> [移動式の場合] 台数 台		病床数	31床		
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 52.9m <sup>2</sup> [共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	423m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 遠心機, 自動分析装置			
細菌検査室	147m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 顕微鏡, 遠心機, 安全キャビネット			
病理検査室	236m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 顕微鏡, 染色装置			
病理解剖室	32m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 電動昇降式解剖台			
研究室	758m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 遺伝子解析装置, 液体クロマトグラフ, 自動洗浄機			
講義室	1382m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	16室	収容定員	1070人
図書室	759m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	2室	蔵書数	55180冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	84.5%	逆紹介率	60.3%
算出根拠	A: 紹介患者の数		13,250人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		10,104人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		914人
	D: 初診の患者の数		16,770人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由 (注) (平成29年3月9日委員会設置)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
片山 眞洋	片山法律事務所 弁護士		医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者	有・ <del>無</del>	1
小池 敦	三重県立看護大学 看護学部 教授		医療を受ける者その他の医療従事者以外の者	有・ <del>無</del>	2
鈴木 明	浜松医科大学医学部 附属病院 医療安全管理室 特任講師	○	医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者	有・ <del>無</del>	1
西井 恵子	三重県津保健所 総務企画課 医療監視員		医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者	<del>有</del> ・無	1
原 健二	元三重県警察警視		医療を受ける者その他の医療従事者以外の者	<del>有</del> ・無	2
				有・無	

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。  
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者  
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1.に掲げる者を除く。)  
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	<del>有</del> ・無
委員の選定理由の公表の有無	<del>有</del> ・無
公表の方法	
本学ホームページに掲載	





(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 3 その他の高度の医療

医療技術名	腎がんに対するラジオ波焼灼療法	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 ラジオ波通電用手電極針をCT画像ガイド下にて経皮的に腫瘍内に穿刺、留置し、ラジオ波を流すことで組織内の温度を上げ、腫瘍を壊死させる治療法である。			
医療技術名	副腎腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 ラジオ波通電用手電極針をCT画像ガイド下にて経皮的に腫瘍内に穿刺、留置し、ラジオ波を流すことで組織内の温度を上げ、腫瘍を壊死させる治療法である。			
医療技術名	肺がんに対するラジオ波焼灼療法	取扱患者数	59人
当該医療技術の概要 ラジオ波通電用手電極針をCT画像ガイド下にて経皮的に腫瘍内に穿刺、留置し、ラジオ波を流すことで組織内の温度を上げ、腫瘍を壊死させる治療法である。			
医療技術名	骨腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 ラジオ波通電用手電極針をCT画像ガイド下にて経皮的に腫瘍内に穿刺、留置し、ラジオ波を流すことで組織内の温度を上げ、腫瘍を壊死させる治療法である。			
医療技術名	骨悪性腫瘍に対する凍結療法	取扱患者数	25人
当該医療技術の概要 ラジオ波通電用手電極をCT画像ガイド下にて経皮的に腫瘍に穿刺し、腫瘍に対してラジオ波発生装置による凝固療法である。			
医療技術名	骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 有痛性骨病変に対して、経皮的骨形成術を行う。11Gの骨生検針を骨内に挿入し、骨セメントを注入する。本院での入院期間は約6日間と短期間である。			
医療技術名	舌下免疫療法	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 スギ花粉症の原因であるスギ花粉のエキスを食パンのかけらにたらし、舌の下に2～3分程度含むことにより、エキスを継続的に体内に入れて体を慣らし、アレルギー反応を減らす。			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	1	56	ベーチェット病	64
2	筋萎縮性側索硬化症	16	57	特発性拡張型心筋症	60
3	脊髄性筋萎縮症	0	58	肥大型心筋症	13
4	原発性側索硬化症	0	59	拘束型心筋症	0
5	進行性核上性麻痺	7	60	再生不良性貧血	39
6	パーキンソン病	155	61	自己免疫性溶血性貧血	1
7	大脳皮質基底核変性症	8	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	1
8	ハンチントン病	1	63	特発性血小板減少性紫斑病	64
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	0
10	シャルコー・マリー・トウス病	0	65	原発性免疫不全症候群	3
11	重症筋無力症	52	66	IgA腎症	26
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	13
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	60	68	黄色靭帯骨化症	10
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	15	69	後縦靭帯骨化症	58
15	封入体筋炎	0	70	広範脊柱管狭窄症	2
16	クロー・深瀬症候群	0	71	特発性大腿骨頭壊死症	18
17	多系統萎縮症	11	72	下垂体性ADH分泌異常症	13
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	45	73	下垂体性TSH分泌亢進症	2
19	ライソゾーム病	1	74	下垂体性PRL分泌亢進症	8
20	副腎白質ジストロフィー	0	75	クッシング病	5
21	ミトコンドリア病	1	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22	もやもや病	41	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	16
23	プリオン病	0	78	下垂体前葉機能低下症	48
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	1	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	1
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	19	83	アジソン病	0
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	67
30	遠位型ミオパチー	0	85	特発性間質性肺炎	5
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	28
32	自己食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	0	88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	23
34	神経線維腫症	18	89	リンパ管筋腫症	2
35	天疱瘡	26	90	網膜色素変性症	34
36	表皮水疱症	0	91	バッド・キアリ症候群	1
37	膿疱性乾癬(汎発型)	12	92	特発性門脈圧亢進症	2
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	1	93	原発性胆汁性肝硬変	54
39	中毒性表皮壊死症	1	94	原発性硬化性胆管炎	4
40	高安動脈炎	19	95	自己免疫性肝炎	8
41	巨細胞性動脈炎	0	96	クローン病	188
42	結節性多発動脈炎	10	97	潰瘍性大腸炎	356
43	顕微鏡的多発血管炎	5	98	好酸球性消化管疾患	1
44	多発血管炎性肉芽腫症	3	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	2	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	5	101	腸管神経節細胞減少症	0
47	バージャー病	9	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	3	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	144	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	89	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	131	106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
52	混合性結合組織病	23	107	全身型若年性特発性関節炎	0
53	シェーグレン症候群	10	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人スチル病	1	109	非典型溶血性尿毒症症候群	2
55	再発性多発軟骨炎	0	110	ブラウ症候群	0

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	0	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	5
113	筋ジストロフィー	2	163	特発性後天性全身性無汗症	0
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	1	166	弾性線維性仮性黄色腫	0
117	脊髄空洞症	0	167	マルファン症候群	4
118	脊髄髄膜瘤	0	168	エーラス・ダンロス症候群	0
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	1
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性 白質脳症	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優 性脳動脈症	0	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性び まん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	1	177	有馬症候群	0
128	ピッカーstaff脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリズ症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	プラダー・ウィリ症候群	0
144	レノックス・ガストー症候群	0	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	0	195	ヌーナン症候群	1
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンブソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん 性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	3	208	修正大血管転位症	0
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	0
160	先天性魚鱗癬	0	210	単心室症	2

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	0	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	3	263	脳腫黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	0	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	0	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	0	266	家族性地中海熱	0
219	ギャロウェイ・モフト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	0	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	12	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0	271	強直性脊椎炎	2
224	紫斑病性腎炎	0	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	0	274	骨形成不全症	0
227	オスラー病	2	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	0
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	1	283	後天性赤芽球癆	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンコニ貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	0	288	自己免疫性出血病XIII	0
241	高チロシン血症1型	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	0
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	2
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスプルング病(全結腸型又は小腸)	0
244	メープルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	0
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	4
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	0
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膝炎	0
251	尿素サイクル異常症	0	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	3
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	0
254	ポルフィリン症	1	302	レーベル遺伝性視神経症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシャー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	0	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	35

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
307	カナパン病	0	319	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	0
308	進行性白質脳症	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0
309	進行性ミオクローヌステんかん	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
310	先天異常症候群	0	322	$\beta$ -ケトチオラーゼ欠損症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	326	大理石骨病	0
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症	0	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	0
316	カルニチン回路異常症	0	328	前眼部形成異常	0
317	三頭酵素欠損症	0	329	無虹彩症	0
318	シトリン欠損症	0	330	先天性気管狭窄症	0

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・病棟薬剤業務実施加算1,2
・歯科外来診療環境体制加算	・データ提出加算2
・歯科診療特別対応連携加算	・退院支援加算2・3
・特定機能病院入院基本料	・精神疾患診療体制加算1・2
・臨床研修病院入院診療加算	・救命救急入院料4
・救急医療管理加算	・特定集中治療室管理料1
・超急性期脳卒中加算	・新生児特定集中治療室管理料1
・妊産婦緊急搬送入院加算	・総合周産期特定集中治療室管理料
・診療録管理体制加算1	・小児入院医療管理料2
・医師事務作業補助体制加算1	・
・急性期看護補助体制加算	・
・看護職員夜間配置加算	・
・看護補助加算1	・
・療養環境加算	・
・重症者等療養環境特別加算	・
・無菌治療室管理加算1, 2	・
・緩和ケア診療加算	・
・精神科身体合併症管理加算	・
・摂食障害入院医療管理加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染防止対策加算1	・
・患者サポート体制充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊娠管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・
・呼吸ケアチーム加算	・

平成29年10月1日現在

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・高度難聴指導管理料	・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うもの)
・がん性疼痛緩和指導管理料	・腹腔鏡下肝切除術
・がん患者指導管理料1~3	・腹腔鏡下肝切除術(亜区域切除、1区域切除(外側区域切除を除く)、2区域切除及び3区域切除以上のもの)
・外来緩和ケア管理料	・生体部分肝移植術
・移植後患者指導管理料	・同種死体肝移植術
・糖尿病透析予防指導管理料	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
・外来リハビリテーション診療料	・腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術
・外来放射線照射診療料	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・開放型病院共同指導料	・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)
・ハイリスク妊産婦共同管理料(I)	・腹腔鏡下小切開副腎摘出術
・がん治療連携計画策定料	・腹腔鏡下小切開腎部分切除術
・認知症専門診断管理料	・腹腔鏡下小切開腎摘出術
・肝炎インターフェロン治療計画料	・腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術
・薬剤管理指導料	・遺伝カウンセリング加算
・地域連携診療計画加算	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・診療情報提供料(I) 検査・画像情報提供加算	・植込型心電図検査
・診療情報提供料(I) 電子的診療情報提供料	・時間内歩行試験
・医療機器安全管理料1・2	・シャトルウォーキングテスト
・歯科治療総合医療管理料	・胎児心エコー法
・在宅血液透析指導管理料	・ヘッドアップティルト試験
・持続血糖測定器加算	・皮下連続式グルコース測定
・造血器腫瘍遺伝子検査	・長期継続頭蓋内脳波検査
・遺伝学的検査	・補聴器適合検査
・HPV核酸検出	・ロービジョン検査判断料
・HPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・コンタクトレンズ検査料1
・検体検査管理加算(I)(IV)	・内服・点滴誘発試験
・国際標準検査管理加算	・センチネルリンパ節生検

・歯科口腔リハビリテーション2	・CT透視下気管支鏡検査加算
・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	・画像診断管理加算1, 2
・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	・ポントロン断層撮影
・廃用症候群リハビリテーション料(Ⅰ)	・ポントロン断層・コンピュータ断層複合撮影
・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	・CT撮影及びMRI撮影
・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	・冠動脈CT撮影加算
・がん患者リハビリテーション料	・外傷全身CT加算
・認知療法・認知行動療法	・大腸CT撮影加算
・精神科ショート・ケア及びデイ・ケア(小規模なもの)	・心臓MRI撮影加算
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・医療保護入院等診療料	・外来化学療法加算1
・エタノールの局所注入(甲状腺・副甲状腺)	・無菌製剤処理料
・透析液水質確保加算	・同種死体腎移植術
・一酸化窒素吸入療法	・生体腎移植術
・う蝕歯無痛的窩洞形成加算	・膀胱水圧拡張術
・歯科技工加算	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・皮膚悪性腫瘍切除術(悪性黒色腫センチネルリンパ節加算)	・人工尿道括約筋植込・置換術
・腫瘍脊椎骨全摘出術	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器加算を用いるもの)
・脳刺激装置植込術、頭蓋内電極植込術及び脳刺激装置交換術	・腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術
・仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術	・腹腔鏡下仙骨腫固定術
・羊膜移植術	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍術(子宮体がんに限る)
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	・胎児胸腔・羊水腔シャント術
・網膜移植術	・輸血管理料(Ⅰ)
・乳腺悪性腫瘍手術(乳頭乳輪温存乳房切除(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳頭乳輪切除術(腋窩郭清を伴うもの))	・貯血式自己血輸血管理体制加算
・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術	・自己生体組織接着剤作成術
・乳がんセンチネルリンパ節加算1, 2	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・人工乳房及び組織拡張器	・歯周組織再生誘導手術
・人工内耳埋込術	・手術時歯根面レーザー応用加算
・植込骨導補聴器の植え込み及び接合子付骨導端子又は骨導端子の交換	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ⅴ(拡大副鼻腔手術)	・麻酔管理料Ⅰ、Ⅱ
・上顎・下顎骨形成術(歯科診療に係るものに限る)	・放射線治療専任加算

・肺悪性腫瘍手術 壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)	・外来放射線治療加算
・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	・高エネルギー放射線治療
・経カテーテル大動脈弁置換術	・強度変調放射線治療(IMRT)
・経皮的中隔心筋焼灼術	・1回線量増加加算
・骨移植術(軟骨移植術を含む)(同種移植術(非生体)(同種骨移植術(特殊なものに限る)))	・画像誘導放射線治療加算(IGRT)
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	・体外照射呼吸性移動対策加算
・埋込型心電図記録計移植術	・直線加速器による定位放射線治療
・埋込型心電図記録計摘出術	・定位放射線治療呼吸移動対策加算
・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術	・テレパソロジーによる術中迅速病理組織標本作製
・埋込型除細動器移植術及び埋込型除細動器交換術	・テレパソロジーによる術中迅速細胞診
・両室ペーシング機能付埋込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付埋込型除細動器交換術	・画像誘導密封小線源治療加算
・大動脈バルーンパンピング法	・病理診断管理加算2
・補助人工心臓	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・経皮的大動脈遮断術	・歯科矯正診断料
・ダメージコントロール手術	・CAD/CAM冠
・胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む)	

平成29年10月1日現在



(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
脳動脈瘤塞栓術におけるHydrogel coilの塞栓効果に関する多施設共同無作為化比較試験 (HYBRID study)	阪井田博司	医学系研究科	¥691,500	補 財団先端医療振興財団 委
ステント支援脳動脈瘤塞栓術の効果と安全性に関する多施設共同前向き観察研究 (研究略称: ESSENCE)	阪井田博司	医学系研究科	¥105,600	補 財団法人先端医療振興財団 委
頸動脈ステント留置術後の再狭窄に対するシロスタゾールの効果に関する多施設共同無作為化比較試験 (CAS-CARE)	鈴木秀謙	医学系研究科	¥285,470	補 財団法人先端医療振興財団 委
秋吉バイオナノトランスポータープロジェクト	珠玖洋	医学系研究科	¥22,273,877	補 国立研究開発法人 科学技術振興機構 委
女性アスリートの育成・支援プロジェクト「女性アスリートの戦略的強化に向けた調査研究」	池田智明	医学系研究科	¥8,636,363	補 支出負担行為担当官 スポーツ庁 委
平成28年度先天性代謝異常等検査事業業務委託 (先天性甲状腺機能低下症)	平山雅浩	医学系研究科	¥10,216,800	補 三重県 委
平成28年度先天性代謝異常等検査事業業務委託 (先天性副腎過形成症)	平山雅浩	医学系研究科	¥10,216,800	補 三重県 委
名張市において望まれる地域医療に関する調査研究事業	竹村洋典	医学系研究科	¥2,307,692	補 名張市 委
遺伝性脳小血管病CADASILのデータベース構築と運用	富本秀和	医学系研究科	¥9,469,231	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 委
認知症疾患医療センターの患者分析による連携機能の強化	富本秀和	医学系研究科	¥923,077	補 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター (国立研究開発法人 日本医療研究開発機構) 委
CHP/NY-ESO-1ポリペプチドがんワクチンの術後食道癌症例を対象とした多施設共同研究前期第Ⅱ相臨床試験	影山慎一	医学系研究科	¥73,360,000	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 委
ヒト臨床腫がん個別化医療改良実現のための迅速治療薬感受性解析システム研究開発	田中利男	医学系研究科	¥50,000,000	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (国立大学法人 名古屋大学) 委
妊娠高血圧症候群と胎児発育不全の克服を目的とした、ホスホジエステラーゼ5阻害剤タダラフィルによる新規予防法と治療法の開発	池田智明	医学系研究科	¥4,761,905	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 委
視機能を評価し機能回復を促す機器の開発・事業化	近藤峰生	医学系研究科	¥112,000	補 公益財団法人 科学技術交流財団 委

TCR改変T細胞の臨床応用を通して考える基盤整備の必要性の検討	珠玖洋	医学系研究科	¥500,000	補 ⑤	国立研究開発法人 国立がん研究センター
高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究	松峯昭彦	医学系研究科	¥392,308	補 ⑤	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (九州労災病院)
骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための基礎研究	松峯昭彦	医学系研究科	¥300,000	補 ⑤	国立研究開発法人 がん研究センター
血管性認知症（アミロイド血管症）の病態解析や画像解析	富本秀和	医学系研究科	¥1,000,000	補 ⑤	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター)
医薬品等の安全評価に関する in vitro 試験（代替法）の開発と国際標準化のための基礎研究	田中利男	医学系研究科	¥36,000,000	補 ⑤	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
平成28年度生活習慣病予防重点プロジェクト特定健診受診率向上事業委託業務	伊藤正明	医学系研究科	¥4,615,385	補 ⑤	名張市
適格患者の登録・治療・評価、検体保存（BBJ）	宮崎香奈	医学系研究科	¥769,231	補 ⑤	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (独立行政法人 国立 病院機構 名古屋医療センター)
小児性再発急性リンパ性白血病の標準治療確立を目的としたICH-GCP 準拠の国際共同臨床試験	豊田秀実	医学系研究科	¥900,000	補 ⑤	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (独立行政法人 国立 病院機構 名古屋医療センター)
癌抗原特異的T細胞受容体（TCR）遺伝子導入T細胞輸注療法	珠玖洋	医学系研究科	¥18,182,000	補 ⑤	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (タカラバイオ株式会社)
がん間質間葉系細胞を傷害するマイクロRNA含有エクソソームによるがんの浸潤・転移阻害剤の開発	珠玖洋	医学系研究科	¥9,091,000	補 ⑤	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
遺伝性網脈絡膜疾患の生体試料の収集・管理・提供と病態解明	近藤峰生	医学系研究科	¥384,616	補 ⑤	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
①妊婦リスク診断法開発 ②『安心で安全な妊娠・出産』に向けた母子感染の感染予防と妊婦診療マニュアルの普及と母子医療相談体制の継続 ③予防策の有効性の研究と妊婦の診察ガイドラインの作成	池田智明	医学系研究科	¥630,000	補 ⑤	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (国立大学法人 東京 大学)
個別がん変異に対するT細胞応答およびネオアンチゲンエピトープ解析と、それらを用いた複合的がん免疫療法の開発	珠玖洋	医学系研究科	¥5,692,308	補 ⑤	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (国立大学法人 長崎 大学)
ナットウキナーゼプラセボ対照ランダム化二重盲検試験、好酸球性副鼻腔炎における嗅覚障害の治療法の開発	小林正佳	医学系研究科	¥500,000	補 ⑤	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (国立大学法人 福井 大学)
認知症の増悪に関わる脳アミロイドアンギオパチー：モデル動物を駆使した糖鎖標的の創薬意義の解明	富本秀和	医学系研究科	¥2,300,000	補 ⑤	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (国立研究開発法人理 化学研究所)
グリア伝達物質遊離機構解析、既存抗てんかん薬のグリア伝達物質遊離に対する効果の解析、グリア伝達を標的機序とした新規抗てんかん薬の開発	岡田元宏	医学系研究科	¥615,385	補 ⑤	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (国立大学法人 東京医 科歯科大学)

小児骨髄系腫瘍に対する標準的治療法の確立	岩本彰太郎	医学系研究科	¥1,538,462	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (国立大学法人 京都大学)
鼻副鼻腔悪性腫瘍に対する内視鏡下頭蓋底手術の標準化を目指した多施設共同研究	小林正佳	医学系研究科	¥200,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (国立大学法人 東京医科歯科大学)
小児・若年者の視覚障害の早期発見・診断・治療・訓練リハビリ等の、自立支援に資する技術開発等に関する研究	近藤峰生	医学系研究科	¥692,308	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (国立研究開発法人 国立成育医療研究センター)
診療録直結型糖尿病データベース構築に向けた病院への情報システム導入と、システムを用いた情報収集の管理業務	矢野 裕	医学部附属病院	¥540,000	補 委	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
保存期慢性腎臓病患者を対象とした臨床研究ーダルベポエチン アルファ製剤低反応に関する検討ー (BRIGHTEN)	石川英二	医学部附属病院	¥862,742	補 委	公益財団法人 先端医療振興財団
びまん性大細胞型B細胞リンパ腫の新規難治性病型に対する治療研究	山口素子	医学部附属病院	¥6,439,231	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
平成28年度HIV感染者等保険福祉相談事業 (エイズ中核拠点病院相談事業)	大石晃嗣	医学部附属病院	¥750,000	補 委	公益財団法人 エイズ予防財団
リンパ系腫瘍・多発性骨髄腫に対する標準的治療確立のための多施設共同研究	山口素子	医学部附属病院	¥300,000	補 委	国立研究開発法人 国立がん研究センター
治験の実施に関する研究 [G-CSF] 急性脊髄損傷感測に対する顆粒球コロニー刺激因子を用いたランダム化、プラセボ対照、二重盲検平行群間比較試験第Ⅲ相試験	明田浩司	医学部附属病院	¥753,847	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (公益社団法人 日本医師会治験促進センター)
重症肺高血圧症モデルに対する治療標的遺伝子の検索	三谷義英	医学部附属病院	¥200,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (国立大学法人 千葉大学)
再発危険因子を有するStageⅡ大腸癌に対するUFT/LV療法の臨床的有用性に関する研究 (JFMC46-1201)	井上 靖浩	医学部附属病院	¥66,461	補 委	公益財団法人 がん集学的治療研究財団
冠動脈疾患患者に対するピタバスタチンによる積極的脂質低下療法または通常脂質低下療法のランダム化比較試験 [REAL-CAD]	土肥 薫	医学部附属病院	¥192,300	補 委	公益財団法人 パブリックヘルスリサーチセンター
2型糖尿病患者を対象とした血管合併症抑制のための強化療法と従来治療とのランダム化比較試験介入終了後の追跡研究 J-D01T3 (追跡)	矢野 裕	医学部附属病院	¥300,000	補 委	公益財団法人 日本糖尿病財団
小児造血器腫瘍 (リンパ腫瘍) に対する標準治療確立の為に研究【急性リンパ性白血病におけるフローサイトメトリー法による微小残存病変の診断の確立】	出口隆生	医学部附属病院	¥1,269,231	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (学校法人 聖路加国際大学)
StageⅢ結腸癌切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法における5-FU系抗がん剤およびオキサリプラチンの至適投与期間に関するランダム化第Ⅲ相比較臨床試験 ACHIEVE Trail (JFMC47-1202-C3)	井上 靖浩	医学部附属病院	¥16,615	補 委	公益財団法人 がん集学的治療研究財団
International Study for treatment of Standard Risk Childhood Relapsed ALL 2010(IntReALL SR 第一再発小児急性リンパ性白血病標準リスク群に対する第Ⅲ相国際共同臨床研究	豊田秀実	医学部附属病院	¥83,076	補 委	独立行政法人 国立病院機構 名古屋医療センター

小児がんの登録・中央診断の推進を基盤とする病態解明と先駆的診断法開発	出口隆生	医学部附属病院	¥2,400,000	補 委	国立成育医療研究センター
小児急性リンパ性白血病の再発患者に対するボルテゾミブを含む多剤併用化学療法の第Ⅱ相試験（医師主導治験）	豊田秀実	医学部附属病院	¥162,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 （国立研究開発法人 国立がん研究センター）
日本における急性心筋梗塞患者の治療および予後の実態調査（JAMIR前向き研究）	伊藤正明	医学部附属病院	¥49,846	補 委	公益在団法人 循環器病研究振興財団
ゲノム医療の実装に向けた統合DBの最適化とゲノム医療従事者の育成（先進ゲノム医療実装施設の構築）	中谷 中	医学部附属病院	¥1,538,500	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 （国立研究開発法人 国立国際医療研究センター）
がんゲノム個別化医療の実現に向けた遺伝子診断共通カリキュラム構築と教育・研修プログラムの実証的開発研究	中谷 中	医学部附属病院	¥923,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 （近畿大学）
安定型冠動脈疾患を合併する非弁膜症性心房細動患者におけるリバーロキサバン単剤療法に関する臨床研究	伊藤正明	医学部附属病院	¥166,154	補 委	公益在団法人 循環器病研究振興財団
三重県プライマリ・ケアセンター事業	竹村洋典	医学系研究科	¥5,262,000	補 委	三重県
平成28年度三重県認知症サポート医フォローアップ研修事業	木田博隆	医学系研究科	¥307,692	補 委	公益社団法人 三重県医師会
三重県周産期医療ネットワークシステム運営研究事業	池田智明	医学部附属病院	¥3,313,440	補 委	三重県
平成28年度がん医療水準的てん化の推進に向けた看護職員資質向上対策事業	中瀬一則	医学部附属病院	¥2,516,400	補 委	三重県
平成28年度三重県地域がん登録情報活用事業	中瀬一則	医学部附属病院	¥21,510,000	補 委	三重県
平成28年度三重県肝疾患診療地域連携体制強化事業	伊藤正明	医学部附属病院	¥12,621,433	補 委	三重県
平成28年度肝炎情報センター戦略的強化事業	伊藤正明	医学部附属病院	¥955,000	補 委	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター （肝炎情報センター）
エイズ治療拠点病院等に対する研修・啓発及び医療情報提供等業務	大石晃嗣	医学部附属病院	¥700,000	補 委	三重県
平成28年度がん検診受診促進・精度管理事業	伊藤正明	医学部附属病院	¥5,839,444	補 委	三重県
平成28年度生活習慣病予防重点プロジェクトがん検診受診率向上事業	伊藤正明	医学部附属病院	¥800,000	補 委	名張市

平成28年度医科歯科連携推進人材育成事業	中瀬一則	医学部附属病院	¥900,000	補 委 補	三重県
平成28年度三重県感染対策支援ネットワーク事業	田辺正樹	医学部附属病院	¥799,200	委 補	三重県
先進的医療イノベーション人材養成事業 (未来医療研究人材養成拠点形成事業)	竹村洋典	医学系研究科	¥41,160,000	委 補	文部科学省
地域総活躍社会のための慢性疼痛医療者育成	丸山一男	医学系研究科	¥20,000,000	委 補	文部科学省
主治医と産業医の連携に関する有効な手法の提案に関する研究	竹村洋典	医学系研究科	¥5,000,000	委 補	厚生労働省 (順天堂大学)
がん診療連携拠点病院機能強化事業	伊藤正明	医学部附属病院	¥44,880,000	委 補	厚生労働省
小児がん拠点病院機能強化事業	伊藤正明	医学部附属病院	¥29,925,000	委 補	厚生労働省
革新的医薬品実用化促進事業	影山慎一	医学部附属病院	¥42,000,000	委 補	厚生労働省
三重県新人看護職員研修事業	伊藤正明	医学部附属病院	¥1,678,000	委 補	三重県
医療情報データベース構築事業	伊藤正明	医学部附属病院	¥39,161,000	委 補	三重県
認知症ケアの医療介護連携体制構築事業	伊藤正明	医学部附属病院	¥3,600,000	委 補	三重県
ICTを活用した緊密ながん医療連携推進事業	伊藤正明	医学部附属病院	¥940,000	委 補	三重県
小児在宅医療・福祉連携事業	岩本彰太郎	医学部附属病院	¥16,954,000	委 補	三重県
総合診療医広域育成拠点整備事業	竹村洋典	医学部附属病院	¥3,525,000	委 補	三重県
血液凝固異常症に関する調査研究	和田英夫	医学系研究科	¥750,000	委 補	厚生労働省大臣官房 (厚生科研_分担)
慢性の痛み診療・教育の基盤となるシステム構築に関する研究	笠井裕一	医学系研究科	¥200,000	委 補	厚生労働省(分担)

小児がん拠点病院を軸とした小児がん医療提供体制のあり方に関する研究	平山雅浩	医学系研究科	¥350,000	補	厚生労働省(分担)
自己免疫性出血症治療の「均てん化」のための実態調査と「総合的」診療指針の作成	和田英夫	医学系研究科	¥450,000	委補	厚生労働省(分担)
特発性大腿骨頭壊死症の疫学調査・診断基準・重症度分類の改訂と診療ガイドライン策定を目指した大規模多施設	須藤啓広	医学系研究科	¥100,000	委補	厚生労働省(分担)
HTLV-1母子感染予防に関する研究: HTLV-1抗体陽性母体からの出生児のコホート研究	加藤稲子	医学系研究科	¥400,000	委補	厚生労働省(分担)
周産期搬送に関する研究	池田智明	医学系研究科	¥1,600,000	委補	厚生労働省(分担)
乳幼児突然死症候群(SIDS)および乳幼児突発性危急事態(ALTE)の病態解明等と死亡数減少のための研究	加藤稲子	医学系研究科	¥1,150,000	委補	厚生労働省
小児期からの希少難治性消化管疾患の移行期を包含するガイドラインの確立に関する研究	内田恵一	医学部附属病院	¥100,000	委補	厚生労働省
感染症発生時の公衆衛生的対策の社会的影響の予測及び対策の効果に関する研究	田辺正樹	医学部附属病院	¥1,100,000	委補	厚生労働省
地域連携に基づいた医療機関等における薬剤耐性菌の感染制御に関する研究	村木優一	医学部附属病院	¥13,500,000	委補	厚生労働省
中枢神経系機能性疾患における三者間シナプス伝達機能障害仮説の構築	岡田元宏	医学系研究科	¥3,100,000	委補	独立行政法人 日本学術振興会
血栓症発症を予測するために、前血栓症状態/過凝固症の検討	和田英夫	医学系研究科	¥2,030,484	委補	独立行政法人 日本学術振興会
分子遺伝子学を導入したロコモティブシンドローム疫学調査	須藤啓広	医学系研究科	¥1,950,000	委補	独立行政法人 日本学術振興会
妊娠高血圧症候群に合併した周産期心筋症の発生機序と血管障害者マーカーの探索研究	池田智明	医学系研究科	¥20,000	委補	独立行政法人 日本学術振興会(分担)
実験的肺高血圧における肺静脈血管の病態解析	丸山一男	医学系研究科	¥400,000	委補	独立行政法人 日本学術振興会(分担)
慢性脳低灌流状態における微小脳循環調節機構の解明	矢田健一郎	医学系研究科	¥1,531,962	委補	独立行政法人 日本学術振興会
ポリオウイルスを用いた神経芽腫の新しい治療法の研究	豊田秀実	医学系研究科	¥2,375,879	委補	独立行政法人 日本学術振興会

食道癌のTCR遺伝子導入細胞療法との併用増強効果を起こすがんワクチンの最適化	影山慎一	医学系研究科	¥1,555,889	補	独立行政法人 日本学術振興会
肉腫のエクソソームは本当に前転移ニッチを教育するのか？	松峯昭彦	医学系研究科	¥1,208,492	委補	独立行政法人 日本学術振興会
疾患関連リプログラミングによる前立腺癌不均一性の獲得機構	有馬公伸	医学系研究科	¥1,500,000	補	独立行政法人 日本学術振興会
自覚症状の言えない知的障害者の健康危険サインキャッチへの挑戦	洪英在	医学系研究科	¥543,820	委補	独立行政法人 日本学術振興会(分担)
肺癌に対する化学放射線治療が癌微小環境に与える影響の探索と治療への応用	村田泰洋	医学系研究科	¥700,000	補	独立行政法人 日本学術振興会
口腔悪性腫瘍治療効果の向上を目的にしたBax mRNA遺伝子治療の開発	奥村健哉	医学系研究科	¥887,954	委補	独立行政法人 日本学術振興会
Art for Ages : 高齢者のWell-beingと音楽実践の学際的研究	田部井賢一	医学系研究科	¥150,000	補	独立行政法人 日本学術振興会(分担)
HF10ウイルスの抗腫瘍効果における新たな免疫因子の役割	珠玖洋	医学系研究科	¥200,000	委補	独立行政法人 日本学術振興会(分担)
ナノゲルハイブリッド材料の創製と医療応用	珠玖洋	医学系研究科	¥3,000,000	補	独立行政法人 日本学術振興会(分担)
障害肝細胞から分泌されるヘパトソームはアルコール性肝炎の病態進行に寄与する	江口暁子	医学系研究科	¥1,100,000	委補	独立行政法人 日本学術振興会
線維細胞に着目した同種造血幹細胞移植後臓器線維化メカニズムの解明と制御法の開発	伊野和子	医学系研究科	¥1,100,000	補	独立行政法人 日本学術振興会
がん微小環境の免疫抑制機構に抵抗性のCAR-T細胞による固形がん治療	王立楠	医学系研究科	¥1,400,000	委補	独立行政法人 日本学術振興会
新規免疫応答測定法を利用した複合療法開発への基盤研究	宮原慶裕	医学系研究科	¥1,600,000	補	独立行政法人 日本学術振興会
ケモカインと神経伝達物質による骨髄由来単球系細胞制御と炎症関連大腸癌の発症抑制	榎屋正浩	医学系研究科	¥1,500,000	委補	独立行政法人 日本学術振興会
掌握運動が左室駆出率が保持された心不全患者の血圧や運動耐容能に与える効果の検討	藤本直紀	医学系研究科	¥1,500,000	補	独立行政法人 日本学術振興会
脳機能等の非対称性に着目したパニック症の病態研究	谷井久志	医学系研究科	¥1,100,000	委補	独立行政法人 日本学術振興会

高解像度3次元血管壁MRIによる頸部頸動脈プラークの定量法の開発	前田正幸	医学系研究科	¥1,300,000	(補)	独立行政法人 日本学術振興会
放射線治療後の心臓障害の診断システムの開発と臨床応用	野本由人	医学系研究科	¥890,000	委 (補)	独立行政法人 日本学術振興会
snoRNAを用いたあらたな胃癌診断・予後マーカーの確立	今岡 裕基	医学系研究科	¥1,900,000	委 (補)	独立行政法人 日本学術振興会
直腸癌術前化学放射線療法による癌間質変化と治療抵抗性・再発機序の解明	三枝 晋	医学系研究科	¥1,800,000	委 (補)	独立行政法人 日本学術振興会
大腸癌における新規免疫治療PD-1/PD-L1経路阻害剤の効果予測マーカーの検証	廣純一郎	医学系研究科	¥1,300,000	委 (補)	独立行政法人 日本学術振興会
生体蛍光染色剤とレーザー内視顕微鏡によるリアルタイム光学的組織診断法の開発	田中光司	医学系研究科	¥1,700,000	委 (補)	独立行政法人 日本学術振興会
肝虚血再灌流障害におけるPAR-1とS1PR1の作用機序の解明	栗山直久	医学系研究科	¥1,400,000	委 (補)	独立行政法人 日本学術振興会
新たなコンセプトに基づいたpH反応性リポソームによる悪性骨軟部腫瘍への治療戦略	浅沼邦洋	医学系研究科	¥1,000,000	委 (補)	独立行政法人 日本学術振興会
実験的肺高血圧に対する亜硝酸依存性NO合成機構の賦活による治療	張尔泉	医学系研究科	¥1,600,000	委 (補)	独立行政法人 日本学術振興会
全エクソーム解析による原発性線毛運動不全症の原因遺伝子の探索	竹内万彦	医学系研究科	¥1,100,000	委 (補)	独立行政法人 日本学術振興会
網膜電図装置RETEvalで測定したフリッカERGの健常者における基準値の解明	加藤久美子	医学系研究科	¥1,100,000	委 (補)	独立行政法人 日本学術振興会
細胞内抗原を認識可能とする抗体によるキメラ抗原受容体T細胞療法の開発	赤堀泰	医学系研究科	¥1,400,000	委 (補)	独立行政法人 日本学術振興会
マイクロMRIを応用したアミロイド血管症と微小病変のex vivoイメージング	富本秀和	医学系研究科	¥1,200,000	委 (補)	独立行政法人 日本学術振興会
癌特異的エクソソーム包埋遺伝子情報をもとにした大腸癌診断ならびに治療戦略の確立	楠正人	医学系研究科	¥1,800,000	委 (補)	独立行政法人 日本学術振興会
肝移植における肝炎ウイルス再発に対するテーラーメイド治療	臼井正信	医学系研究科	¥200,000	委 (補)	独立行政法人 日本学術振興会
EUS-FNA検体を用いた、新たな膵癌集学的治療戦略	伊佐地秀司	医学系研究科	¥900,000	委 (補)	独立行政法人 日本学術振興会

認知神経科学的アプローチによる音楽の認知症予防・進行抑制作用の解明	田部井賢一	医学系研究科	¥700,000	補	独立行政法人 日本学術振興会
大腸癌発癌pathwayから検証した大腸癌前癌病変の非侵襲的血清診断法の確立	楠正人	医学系研究科	¥2,860,105	委補	独立行政法人 日本学術振興会
日本における静脈血栓塞栓症治療に関する疫学調査	中村真潮	医学系研究科	¥3,082,447	補	独立行政法人 日本学術振興会
サルコペニアを標的とした心臓悪液質および誤嚥性肺炎の病態解明と栄養療法の確立	三木誓雄	医学系研究科	¥10,000	委補	独立行政法人 日本学術振興会(分担)
M2マクロファージを用いた移植後慢性GVHDに対する新規細胞治療法の開発	平山雅浩	医学系研究科	¥900,000	補	独立行政法人 日本学術振興会
炎症機序を標的とした肺動脈性肺高血圧の新規治療法の開発	澤田博文	医学系研究科	¥1,917,819	委補	独立行政法人 日本学術振興会
慢性皮膚炎が引き起こす炎症性サイトカインによる全身臓器病変に関する研究	山中恵一	医学系研究科	¥1,400,000	補	独立行政法人 日本学術振興会
胃癌腹膜播種に関するlncRNAの解明—新規診断・治療法への応用を目指して—	毛利靖彦	医学系研究科	¥1,429,834	委補	独立行政法人 日本学術振興会
エピゲノムから考案した潰瘍性大腸炎癌化ハイリスク症例の診断方法の確立	問山裕二	医学系研究科	¥1,506,383	補	独立行政法人 日本学術振興会
単一アーム収束型の電気式離脱型頭蓋内ステントの開発研究	阪井田博司	医学系研究科	¥1,300,000	委補	独立行政法人 日本学術振興会
サルコペニア治療への挑戦—骨格筋虚血/再灌流障害の病態とオルガネラが果たす役割—	辻井雅也	医学系研究科	¥800,000	補	独立行政法人 日本学術振興会
Expandable pedicle screw systemの基礎的研究	笠井裕一	医学系研究科	¥661,950	委補	独立行政法人 日本学術振興会
前立腺癌間質パネルから紐解くリガンド非依存的なアンドロゲン受容体活性化分子機構	杉村芳樹	医学系研究科	¥1,100,000	補	独立行政法人 日本学術振興会
嗅神経切断後のTNF- $\alpha$ 阻害薬による嗅神経の機能的再生促進法の確立	宮村朋孝	医学系研究科	¥1,239,426	委補	独立行政法人 日本学術振興会
嗅覚障害に対する新規他覚的検査法確立と再生医療開発に関する研究	小林正佳	医学系研究科	¥611,841	補	独立行政法人 日本学術振興会
電気生理学的手法を用いた近視眼及び正視眼における網膜内層機能の評価	生杉謙吾	医学系研究科	¥1,916,560	補	独立行政法人 日本学術振興会

完全型先天停在性夜盲のイヌモデルの確立と機能・遺伝子解析	近藤峰生	医学系研究科	¥1,199,200	補	独立行政法人 日本学術振興会
血中・尿中膵癌由来ペプチドの網羅的解析による新規バイオマーカーの探索	稲垣悠二	医学系研究科	¥838,170	委補	独立行政法人 日本学術振興会
前立腺癌間質不均一性に隠れた秩序の探索- 間質をターゲットとする治療戦略の開発	加藤学	医学部附属病院	¥900,000	補	独立行政法人 日本学術振興会
薬物血中濃度に基づく外来HIV共同薬物治療 管理体制の構築と薬学的評価	奥田真弘	医学部附属病院	¥1,150,000	委補	独立行政法人 日本学術振興会
播種性血管内凝固症候群患者におけるリコ ンビナントトロンボモジュリン体内動態の 説明	榎屋友幸	医学部附属病院	¥470,000	補	独立行政法人 日本学術振興会
医師のノンテクニカルスキル習得および向 上のための基盤構築に関する研究	兼児敏浩	医学部附属病院	¥100,000	委補	独立行政法人 日本学術振興会
暴力の世代伝達を断ち切るケアに関する研 究：PTSD予防・治療・回復と周産期支援	鈴木大	医学部附属病院	¥100,000	補	独立行政法人 日本学術振興会
治療抵抗性の肝転移に対する球状塞栓物質 を用いた肝動脈塞栓療法：多施設共同臨床 試験	中塚豊真	医学部附属病院	¥350,000	補	独立行政法人 日本学術振興会
従来の肝動脈塞栓術不応後の肝細胞癌に対 する球状塞栓物質を用いた肝動脈化学塞栓 療法	中塚豊真	医学部附属病院	¥290,000	委補	独立行政法人 日本学術振興会
脳活動を指標にした感覚情報処理抑制系の 説明	元村英史	医学部附属病院	¥390,050	補	独立行政法人 日本学術振興会
精神障害の親と暮らす子供が安心して支援 に繋がるための体制づくり	鈴木大	医学部附属病院	¥155,850	委補	独立行政法人 日本学術振興会
正の分布から生成されるRadial分布の性質 と位置推定における精度評価	小椋透	医学部附属病院	¥100,000	補	独立行政法人 日本学術振興会
炎症性サイトカインとmicroRNAは軟部腫瘍 の診断・予後因子となりうるか？	中村知樹	医学部附属病院	¥1,500,000	委補	独立行政法人 日本学術振興会
膵癌撲滅に向けたテーラーメイド治療—化 学放射線療法抵抗性・癌幹細胞に対する戦 略—	水野修吾	医学部附属病院	¥900,000	補	独立行政法人 日本学術振興会
炎症性腸疾患時のタクロリムスの薬物体内 動態と薬効制御におけるマイクロRNAの役割	池村健治	医学部附属病院	¥1,200,000	委補	独立行政法人 日本学術振興会
生体肝移植時のカルシニューリン阻害薬の 体内動態制御におけるマイクロRNAの役割	奥田真弘	医学部附属病院	¥1,500,000	補	独立行政法人 日本学術振興会
				委	

東アジアから発信するNK/T細胞リンパ腫新世代治療の最適化	山口素子	医学部附属病院	¥1,100,000	補	独立行政法人 日本学術振興会
慢性GVHD組織線維化病態におけるテネイシン-Cの役割の解明と標的治療法の開発	俵功	医学部附属病院	¥1,100,347	委補	独立行政法人 日本学術振興会
プロテオミクスを用いたHirschsprung病の新規診断マーカーの探索	井上幹大	医学部附属病院	¥502,266	委補	独立行政法人 日本学術振興会
3テスラMOLLI MRIによる急性心筋梗塞の心筋組織性状評価法の開発	永田幹紀	医学部附属病院	¥1,628,580	委補	独立行政法人 日本学術振興会
3T MRIによる冠血流予備能評価：心筋血流PET・FFRによる検証	市川泰崇	医学部附属病院	¥1,066,396	委補	独立行政法人 日本学術振興会
胃癌腹膜播種を規定するmicroRNAの網羅的解析と治療戦略	沖上正人	医学部附属病院	¥1,296,636	委補	独立行政法人 日本学術振興会
肺高血圧におけるスーパーオキシドの役割とキサントキサンオキターゼ阻害による治療	横地歩	医学部附属病院	¥1,100,000	委補	独立行政法人 日本学術振興会
マクロライドの作用機序の解明と新しい併用療法の開発	石永一	医学部附属病院	¥974,196	委補	独立行政法人 日本学術振興会
嗅神経再生促進のための抗炎症治療戦略のタイムリミットの解明	北野雅子	医学部附属病院	¥905,550	委補	独立行政法人 日本学術振興会
医療機関における感染対策の質向上のための包括的システム構築に関する研究	田辺正樹	医学部附属病院	¥2,788,372	委補	独立行政法人 日本学術振興会
認知症患者に対する音楽体操の認知機能改善効果の検討	佐藤正之	医学部附属病院	¥1,488,984	委補	独立行政法人 日本学術振興会
左心系疾患による肺高血圧症進展のメカニズム解明および治療ターゲットの創出	土肥薫	医学部附属病院	¥2,354,605	委補	独立行政法人 日本学術振興会
新規白血病治療薬開拓に向けた白血病微小環境におけるN-カドヘリン分子の機能解析	岩本彰太郎	医学部附属病院	¥1,100,000	委補	独立行政法人 日本学術振興会
炎症関連因子—血管平滑筋脱分化を標的とした肺動脈性肺高血圧の新規治療法の開発	三谷義英	医学部附属病院	¥2,900,000	委補	独立行政法人 日本学術振興会
緊張病症状の病態仮説の拡散テンソル画像による形態学的検証	城山隆	医学部附属病院	¥1,120,163	委補	独立行政法人 日本学術振興会
骨軟部腫瘍に対するCTガイド下凍結療法：基礎的研究と臨床試験	中塚豊真	医学部附属病院	¥2,818,596	委補	独立行政法人 日本学術振興会

胃癌外科的治療テーラーメイド化目的のリンパ節転移同定エピゲノムパネルの確立	安田裕美	医学部附属病院	¥1,678,448	補 委	独立行政法人 日本学術振興会
集学的治療を目的とした、胃癌腹膜播種同定エピゲノムパネルの確立	志村匡信	医学部附属病院	¥2,034,757	補 委	独立行政法人 日本学術振興会
大腸癌腹膜播種に関するmicroRNAの網羅的解析と治療戦略	藤川裕之	医学部附属病院	¥1,083,145	補 委	独立行政法人 日本学術振興会
エピゲノムから考案したクローン病癌化ハイリスク症例の診断方法の確立	大北喜基	医学部附属病院	¥1,632,504	補 委	独立行政法人 日本学術振興会
DNAメチル化の網羅的解析による潰瘍性大腸炎術後回腸嚢炎発症の機序解明	川村幹雄	医学部附属病院	¥1,652,867	補 委	独立行政法人 日本学術振興会
高齢化社会に適応する高機能性脊椎インプラントの開発	明田浩司	医学部附属病院	¥1,400,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興会
酸感受性受容体を中心とした骨吸収関連疼痛因子の発現検索による骨粗鬆性疼痛の解明	若林弘樹	医学部附属病院	¥1,100,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興会
プロテオミクスを用いた小児炎症性腸疾患の新規マーカーの探索	内田恵一	医学部附属病院	¥225,827	補 委	独立行政法人 日本学術振興会
PDE2遺伝子変異を標的とした悪性腫瘍の新規治療方法の開発	村田琢	医学部附属病院	¥872,769	補 委	独立行政法人 日本学術振興会
PDE1阻害剤による口腔悪性黒色腫の転移抑制機構の解明と新規治療法の開発	清水香澄	医学部附属病院	¥1,603,601	補 委	独立行政法人 日本学術振興会
くも膜下出血後早期脳損傷の病態解明	藤本昌志	医学部附属病院	¥1,200,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興会
骨軟部腫瘍の免疫チェックポイント機構の解析	柿本拓也	医学部附属病院	¥1,100,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興会
肺動脈性肺高血圧症に対するワクチン治療の開発	荻原義人	医学部附属病院	¥1,600,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興会
バイズ法を用いたマクネマー検定の改善	小椋透	医学部附属病院	¥600,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興会
細胞外マトリックスに着目した肝切除後NASH発生機序に関する分子基盤的研究	加藤宏之	医学部附属病院	¥1,500,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興会
脳梗塞亜急性期におけるペントラキシン3の作用	新堂晃大	医学部附属病院	¥1,200,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興会

敗血症性ショックにおいて腹部臓器から放出される細胞外小胞が多臓器不全へ与える影響	坂倉 庸介	医学部附属病院	¥1,300,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興会
$\beta$ 2インテグリンとトロンボモジュリンの結合が炎症と凝固に与える影響	川本英嗣	医学部附属病院	¥1,300,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興会
腸内細菌を基盤にしたimmunoparalysisの病態形成と治療法に関する検討	増井亜紗実	医学部附属病院	¥1,300,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興会
聴覚変化検出からみたうつ病の神経基盤	元村英史	医学部附属病院	¥1,084,406	補 委	独立行政法人 日本学術振興会
肝細胞癌に対するミリプラチン・リピオドール懸濁液動注後経皮的ラジオ波凝固療法	山中隆嗣	医学部附属病院	¥1,559,045	補 委	独立行政法人 日本学術振興会
境界型肺高血圧症における予後規定因子の同定と早期治療効果に関する検討	山田典一	医学部附属病院	¥1,507,114	補 委	独立行政法人 日本学術振興会
抗凝固療法不要な、自己組織による内皮化人工血管の作成、臨床応用	小沼武司	医学部附属病院	¥2,716,057	補 委	独立行政法人 日本学術振興会
運動教示のためのリアルタイム身体動作符号化	坂本良太	医学部附属病院	¥900,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興会
免疫チェックポイント阻害薬のPK/PD評価系構築と個別化治療への応用	岩本卓也	医学部附属病院	¥1,600,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興会
効果的な医療従事者向けチームコーチングプログラムの開発	田口智博	医学部附属病院	¥1,100,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興会
脂肪肝における肝由来低エン트로ピー小胞による動脈硬化発症のメカニズムの解明	杉本和史	医学部附属病院	¥1,400,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興会
機能的MR撮影法による頭頸部腫瘍の診断と早期治療効果判定の検討	海野真記	医学部附属病院	¥1,700,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興会
クローン病長期寛解維持のための薬剤反応性予測マーカーの解明	荒木俊光	医学部附属病院	¥2,600,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興会
肺移植におけるドナー肺長時間保存法の確立—より長時間作動PPCの模索—	島本亮	医学部附属病院	¥2,000,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興会
腫瘍微小環境調整因子併用による抗腫瘍治療薬効果改善法の開発	松原孝夫	医学部附属病院	¥1,200,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興会
血小板の細菌感染防御メカニズムの解明：新しい敗血症治療戦略を提唱するために	亀井政孝	医学部附属病院	¥1,300,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興会

外傷性嗅覚障害に対する抗HMGB1抗体療法確立のための基礎研究	西田幸平	医学部附属病院	¥2,200,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興会
抗酸化剤（ミセル化TENPO）を利用した急性肺傷害治療の開発	中橋奨	医学部附属病院	¥600,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興会
低体温療法時の感染症管理をいかに行うか？：包括的治療戦略構築へのアプローチ	鈴木圭	医学部附属病院	¥1,500,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興会
敗血症における人工呼吸関連肺損傷に対するトロンボモジュリンの抑制効果	岩下義明	医学部附属病院	¥1,300,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興会
結核菌抗原遺伝子組み込みパラインフルエンザ2型ウイルスの作製	野阪哲哉	医学系研究科	¥3,000,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養 研究所)
病変組織に集積する放射性医薬品の開発	吉田利通	医学系研究科	¥3,000,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (国立大学法人 名古屋 大学)
熱帯熱マalaria人工染色体を利用したマalaria薬剤耐性遺伝子の同定と診断・治療への応用	油田正夫	医学系研究科	¥2,000,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (国立大学法人 名古屋 大学)
高度がん医療を先導する人材養成拠点の形成・がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン	緒方正人	医学系研究科	¥22,258,000	補 委	文部科学省 (国立大学法人 京都 大学)
創薬・新規医療開発のアカデミア拠点強化	溝口明	医学系研究科	¥15,000,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (国立大学法人 京都 大学)
炎症性動脈瘤形成症候群の治療法選択に関する研究	今中恭子	医学系研究科	¥200,000	補 委	厚生労働省(分担)
iPS細胞由来Kii ALS/PDC新規病態モデルの作製と診断・治療法の確立	森本悟	医学系研究科	¥900,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興会
MY現象を応用した新しい食中毒菌検査法の開発	翠川薫	医学系研究科	¥219,250	補 委	独立行政法人 日本学術振興会(分担)
遺伝子改変マウスを用いた抗癌剤耐性肺癌の新規治療法の開発	GABAZZASANABRIAESTE	医学系研究科	¥1,500,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興会
新組織切片培養で誘導された前立腺癌関連遺伝子の機能的解析と診断・治療への応用	白石泰三	医学系研究科	¥100,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興会(分担)
非侵襲性次世代型経鼻噴霧タイプ子宮頸癌予防ワクチンの開発	河野光雄	医学系研究科	¥1,899,584	補 委	独立行政法人 日本学術振興会
マクロファージ機能の選択的制御による新たな大動脈瘤退縮治療法の開発	今中恭子	医学系研究科	¥300,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興会(分担)

CEA特異的キメラ抗原受容体導入Tregを用いた難治性喘息に対する新規治療	加藤琢磨	医学系研究科	¥1,300,000	補	独立行政法人 日本学術振興会
ダウン症候群の核型正常化による合併症の予防および治療法確立に向けた研究	橋詰令太郎	医学系研究科	¥1,300,000	委 補	独立行政法人 日本学術振興会
歯周組織を用いたマルファン症候群の新規分子イメージング診断技術の開発	今中恭子	医学系研究科	¥300,000	委 補	独立行政法人 日本学術振興会(分担)
エクソソームを用いたアルツハイマー病の早期診断法の開発と予防法の確立	及川伸二	医学系研究科	¥3,064,954	委 補	独立行政法人 日本学術振興会

計 226件

(注)

- 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Zhuo Wang, Toshihiko Sakakibara, Takamasa Yoshikawa, Tadashi Inaba, Yuichi Kasai	Department of Spinal Surgery and Medical Engineering, Mie University Graduate School of Medicine, Japan Department of Mechanical Engineering, Mie University, Japan.	Do the Position and Orientation of the Crosslink Influence the Stiffness of Spinal Instrumentation?	Clin Spine Surg(): 2016	JOURNAL ARTICLE
2	Yuki Kamimoto, Hideo Wada, Makoto Ikejiri, Kaname Nakatani, Takashi Sugiyama, Kazuhiro Osato, Nao Murabayashi, Koji Habe, Hitoshi Mizutani, Takeshi Matsumoto, Kohshi Ohishi, Tomoaki Ikeda	Department of Obstetrics and Gynecology, Mie University Graduate School of Medicine, Mie, Tsu, Japan.	Hypofibrinogenemia and the $\alpha$ -Fibrinogen Thr312Ala Polymorphism may be Risk Factors for Early Pregnancy Loss.	Clin. Appl. Thromb. Hemost.23(1): 52-57 2017	Journal Article
3	Hiroki Imaoka, Yuji Toiyama, Masato Okigami, Hiromi Yasuda, Susumu Saigusa, Masaki Ohi, Koji Tanaka, Yasuhiro Inoue, Yasuhiko Mohri, Masato Kusunoki	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Mie University Graduate School of Medicine, 2-174 Edobashi, Tsu, Mie, 514-8507, Japan.	Circulating microRNA-203 predicts metastases, early recurrence, and poor prognosis in human gastric cancer.	Gastric Cancer19(3): 744-53 2016	Comparative Study
4	H Ishikawa, N Kawada, A Taniguchi, K Odachi, A Mizutani, M Asahi, H Tomimoto	Department of Neurology, Mie University Graduate School of Medicine, Mie, Japan.	Paraneoplastic neurological syndrome due to burned-out testicular tumor showing hot cross-bun sign.	Acta Neurol. Scand.133(5): 398-402 2016	Case Reports
5	Lei Liu, Masashi Fujimoto, Fumihiko Kawakita, Fumi Nakano, Kyoko Imanaka-Yoshida, Toshimichi Yoshida, Hidenori Suzuki	Department of Neurosurgery, Mie University Graduate School of Medicine, 2-174 Edobashi, Tsu, Mie, 514-8507, Japan.	Anti-Vascular Endothelial Growth Factor Treatment Suppresses Early Brain Injury After Subarachnoid Hemorrhage in Mice.	Mol. Neurobiol.53(7): 4529-38 2016	Journal Article
6	Susumu Saigusa, Yuji Toiyama, Koji Tanaka, Yasuhiro Inoue, Koichiro Mori, Shozo Ide, Hiroki Imaoka, Mikio Kawamura, Yasuhiko Mohri, Masato Kusunoki	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Mie University Graduate School of Medicine, 2-174 Edobashi, Tsu, Mie, 514-8507, Japan. saigusa@clin.medic.mie-u.ac.jp.	Prognostic relevance of stromal CD26 expression in rectal cancer after chemoradiotherapy.	Int. J. Clin. Oncol.21(2): 350-8 2016	Journal Article
7	Lei Liu, Masashi Fujimoto, Fumihiko Kawakita, Naoki Ichikawa, Hidenori Suzuki	Department of Neurosurgery, Mie University Graduate School of Medicine, 2-174 Edobashi, Tsu, Mie, 514-8507, Japan. liulei715127@gmail.com.	Vascular Endothelial Growth Factor in Brain Edema Formation After Subarachnoid Hemorrhage.	Acta Neurochir. Suppl.121(): 173-7 2016	Journal Article
8	Masashi Fujimori, Koichiro Yamakado, Haruyuki Takaki, Atsuhiko Nakatsuka, Junji Uraki, Takashi Yamanaka, Takaaki Hasegawa, Yuichi Sugino, Ken Nakajima, Naritaka Matsushita, Shugo Mizuno, Hajime Sakuma, Shuji Isaji	Department of Radiology, Mie University School of Medicine, 2-174 Edobashi, Tsu, Mie, 514-8507, Japan. fujimorim@clin.medic.mie-u.ac.jp.	Long-Term Results of Stent Placement in Patients with Outflow Block After Living-Donor-Liver Transplantation.	Cardiovasc Intervent Radiol39(4): 566-74 2016	Journal Article
9	Yuichi Kasai, Toshihiko Sakakibara, Thein Aung Kyaw, Zaw Wai Soe, Zaw Min Han, Maung Mg Htwe	a Department of Spinal Surgery and Medical Engineering , Mie University Graduate School of Medicine , Tsu City , Japan.	Psychological effects of meditation at a Buddhist monastery in Myanmar.	J Ment Health26(1): 4-7 2017	Journal Article

10	Satoru Tanioka, Masato Shiba, Yasuyuki Umeda, Takanori Sano, Masayuki Maeda, Hidenori Suzuki	Department of Neurosurgery, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Japan. Electronic address: satoru-tanioka@umin.net.	A Case of Moyamoya Disease with a Transient Neurologic Deterioration Associated with Subcortical Low Intensity on Fluid-Attenuated Inversion Recovery Magnetic Resonance Images After Bypass Surgery.	World Neurosurg88(): 688.e17-21 2016	Case Reports
11	Kazuki Kanayama, Hiroshi Imai, Misao Yoneda, Yoshifumi S Hirokawa, Taizo Shiraishi	Department of Oncologic Pathology, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Japan.	Significant intratumoral heterogeneity of human epidermal growth factor receptor 2 status in gastric cancer: A comparative study of immunohistochemistry, FISH, and dual-color in situ hybridization.	Cancer Sci.107(4): 536-42 2016	Journal Article
12	H Kobayashi, M Naito, M Masuya, M Maruyama, K Urata, Y Takahashi, A Tomaru, K Fujiwara, M Ohnishi, T Takagi, T Kobayashi, C D'Alessandro-Gabazza, M Urawa, E C Gabazza, O Taguchi, Y Takei	Department of Pulmonary and Critical Care Medicine, Mie University Graduate School of Medicine, Edobashi 2-174, Tsu City, Mie Prefecture 514-8507, Japan.	Circulating fibrocytes correlate with the asthma control test score.	Allergol Immunopathol (Madr)44(3): 191-6 2016	Journal Article
13	Hiroataka Kida, Masayuki Satoh, Yuichiro Ii, Hidenao Fukuyama, Masayuki Maeda, Hidekazu Tomimoto	Department of Dementia Prevention and Therapeutics, Graduate School of Medicine, Mie University, Mie, Japan.	Detection of cerebral amyloid angiopathy by 3-T magnetic resonance imaging and amyloid positron emission tomography in a patient with subcortical ischaemic vascular dementia.	Psychogeriatrics17(1): 70-72 2017	Case Reports
14	Toru Ogura, Takemi Yanagimoto	Mie University Hospital, 2-174, Edobashi, Tsu City, 514-8507, Mie, Japan.	Improving and extending the McNemar test using the Bayesian method.	Stat Med35(14): 2455-66 2016	Journal Article
15	Reiko Yamada, Shugo Mizuno, Katsunori Uchida, Misao Yoneda, Kazuki Kanayama, Hiroyuki Inoue, Yasuhiro Murata, Naohisa Kuriyama, Masashi Kishiwada, Masanobu Usui, Noriko Ii, Junya Tsuboi, Shunsuke Tano, Yasuhiko Hamada, Kyosuke Tanaka, Noriyuki Horiki, Toru Ogura, Taizo Shiraishi, Yoshiyuki Takei, Naoyuki Katayama, Shuji Isaji	From the *Gastroenterology and Hepatology, Hepatobiliary Pancreatic and Transplant Surgery, and Oncologic Pathology, Mie University Graduate School of Medicine.	Human Equilibrative Nucleoside Transporter 1 Expression in Endoscopic Ultrasonography-Guided Fine-Needle Aspiration Biopsy Samples Is a Strong Predictor of Clinical Response and Survival in the Patients With Pancreatic Ductal Adenocarcinoma Undergoing Gemcitabine-Based Chemoradiotherapy.	Pancreas45(5): 761-71 2016	Journal Article
16	K Kanayama, H Imai, M Yoneda, A Hayashi, Y S Hirokawa, T Shiraishi	Department of Oncologic Pathology, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Mie, Japan. stussykzk@clin.medic.mie-u.ac.jp.	Cytological findings of an ectopic pancreas of the stomach obtained at endoscopic ultrasound-guided fine needle aspiration, differential diagnosis from acinar cell carcinoma: a case report.	Cytopathology27(5): 379-81 2016	Case Reports
17	Yoshiki Okita, Toshimitsu Araki, Mikio Kawamura, Satoru Kondo, Mikihiro Inoue, Minako Kobayashi, Yuji Toiyama, Masaki Ohi, Koji Tanaka, Yasuhiro Inoue, Keiichi Uchida, Yasuhiko Mohri, Masato Kusunoki	Division of Reparative Medicine, Departments of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Institute of Life Sciences, Mie University Graduate School of Medicine, 2-174 Edobashi, Tsu, Mie, 514-8507, Japan. nyokkin@clin.medic.mie-u.ac.jp.	Clinical features and management of afferent limb syndrome after ileal pouch-anal anastomosis for ulcerative colitis.	Surg. Today46(10): 1159-65 2016	Journal Article
18	Aya Noro, Takashi Nakamura, Toshiko Hirai, Masayo Haga, Toyoki Kobayashi, Akinobu Hayashi, Yuji Kozuka, Tokiko Nakai, Toru Ogura, Tomoko Ogawa	Department of Breast Surgery, Mie University Hospital, 2-174 Edobashi, Tsu, Mie, 514-8507, Japan. xxxme_heavenly@yahoo.co.jp.	Impact of parametric imaging on contrast-enhanced ultrasound of breast cancer.	J Med Ultrason (2001)43(2): 227-35 2016	Journal Article
19	Makoto Kondo, Shigehiro Akachi, Katsuhiko Ando, Tatsuma Nomura, Keiichi Yamanaka, Hitoshi Mizutani	Department of Dermatology, Mie University Graduate School of Medicine, Mie, Japan.	Two Japanese siblings affected with Chikungunya fever with different clinical courses: Imported infections from the Cook Islands.	J. Dermatol.43(6): 697-700 2016	Journal Article

20	Hidemi Toyoda, Hideo Wada, Toshiyuki Miyata, Keishiro Amano, Kentaro Kihira, Shotaro Iwamoto, Masahiro Hirayama, Yoshihiro Komada	Departments of *Pediatrics Molecular and Laboratory Medicine, Mie University School of Medicine, Tsu Department of Cerebrovascular Medicine, National Cerebral and Cardiovascular Center, Suita, Osaka, Japan.	Disease Recurrence After Early Discontinuation of Eculizumab in a Patient With Atypical Hemolytic Uremic Syndrome With Complement C3 I1157T Mutation.	J. Pediatr. Hematol. Oncol.38(3): e137-9 2016	Case Reports
21	Masaki Ishida, Kakuya Kitagawa, Takashi Ichihara, Takahiro Natsume, Ryohei Nakayama, Naoki Nagasawa, Makiko Kubooka, Tatsuro Ito, Mio Uno, Yoshitaka Goto, Motonori Nagata, Hajime Sakuma	Department of Radiology, Mie University Hospital, Tsu, Mie, Japan.	Underestimation of myocardial blood flow by dynamic perfusion CT: Explanations by two-compartment model analysis and limited temporal sampling of dynamic CT.	J Cardiovasc Comput Tomogr10(3): 207-14 2016	Journal Article
22	Yoichi Miura, Hiroshi Tanemura, Masashi Fujimoto, Kazuhide Hamada, Keiichi Miyamoto, Naoki Toma, Kyoko Imanaka-Yoshida, Satoshi Matsushima, Toshimichi Yoshida, Waro Taki, Hidenori Suzuki	Department of Neurosurgery, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Japan. Electronic address: yoimiu@hotmail.com.	Aneurysm Organization Effects of Gellan Sulfate Core Platinum Coil with Tenascin-C in a Simulated Clinical Setting and the Possible Mechanism.	J Stroke Cerebrovasc Dis25(4): 771-80 2016	Journal Article
23	Toshio Yamaguchi, Hideo Wada, Shinichi Miyazaki, Masahiro Hasegawa, Hiroki Wakabayashi, Kunihiro Asanuma, Naoki Fujimoto, Takeshi Matsumoto, Kohshi Ohishi, Akane Sakaguchi, Norikazu Yamada, Masaaki Ito, Yoshiki Yamashita, Naoyuki Katayama, Akihiro Sudo	Departments of Orthopaedic Surgery, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Japan.	Fibrin-related markers for diagnosing acute-, subclinical-, and pre-venous thromboembolism in patients with major orthopedic surgery.	Int. J. Hematol.103(5): 560-6 2016	Journal Article
24	Takuya Iwamoto, Akiharu Okamoto, Hajime Ishinaga, Kasumi Shimizu, Alberto A Gayle, Naoya Arai, Kazuhiko Takeuchi, Masahiro Okuda	Department of Pharmacy, Mie University Hospital, Tsu, Mie, 514-8507, Japan.	A novel approach to predict cetuximab-induced hypersensitivity reaction: detection of drug-specific IgE on basophils.	Cancer Med5(6): 1004-122016	Journal Article
25	Makoto Ikejiri, Hideo Wada, Toshio Yamaguchi, Shinichi Miyazaki, Masahiro Hasegawa, Hiroki Wakabayashi, Kunihiro Asanuma, Akane Sakaguchi, Takeshi Matsumoto, Kohshi Ohishi, Naoki Fujimoto, Norikazu Yamada, Masaaki Ito, Naoyuki Katayama, Akihiro Sudo	Department of Central Laboratory, Mie University Hospital, Tsu, Japan.	Comparison of three different anti-Xa assays in major orthopedic surgery patients treated with fondaparinux.	Int. J. Hematol.103(5): 554-9 2016	Comparative Study
26	Yasunori Matsuda, Hiroshi Sakaida, Masayoshi Kobayashi, Kazuhiko Takeuchi	Department of Otorhinolaryngology - Head & Neck Surgery, Mie University Graduate School of Medicine, Mie, Japan.	Successful application of endoscopic modified medial maxillectomy to orbital floor trapdoor fracture in a pediatric patient.	Auris Nasus Larynx43(5): 575-8 2016	Case Reports
27	Akihiro Shindo, Takakuni Maki, Emiri T Mandeville, Anna C Liang, Naohiro Egawa, Kanako Itoh, Naoki Itoh, Mia Borlongan, Julie C Holder, Tsu Tshen Chuang, John D McNeish, Hidekazu Tomimoto, Josephine Lok, Eng H Lo, Ken Arai	From the Neuroprotection Research Laboratory, Departments of Radiology and Neurology (A.S., T.M., E.T.M., A.C.L., N.E., K.I., N.I., M.B., J.L., E.H.L., K.A.) and Pediatrics (J.L.), Massachusetts General Hospital, Harvard Medical School, Charlestown, Boston; Department of Vascular Biology, GlaxoSmithKline, Harlow, United Kingdom (J.C.H., T.T.C., J.D.M.); and Department of Neurology, Mie University Graduate School of Medicine, Mie, Japan (A.S., H.T.).	Astrocyte-Derived Pentraxin 3 Supports Blood-Brain Barrier Integrity Under Acute Phase of Stroke.	Stroke47(4): 1094-100 2016	Journal Article
28	Yoshie Kurita, Kakuya Kitagawa, Yusuke Kurobe, Shiro Nakamori, Hiroshi Nakajima, Kaoru Dohi, Masaaki Ito, Hajime Sakuma	Department of Radiology, Mie University Hospital, Tsu, Japan.	Estimation of myocardial extracellular volume fraction with cardiac CT in subjects without clinical coronary artery disease: A feasibility study.	J Cardiovasc Comput Tomogr10(3): 237-41 2016	Journal Article
29	Tomoki Nakamura, Akihiko Matsumine, Akira Kawai, Nobuhito Araki, Takahiro Goto, Tsukasa Yonemoto, Hideshi Sugiura, Yoshihiro Nishida, Hiroaki Hiraga, Kanya Honoki, Taketoshi Yasuda, Shogen Boku, Akihiro Sudo, Takafumi Ueda	Department of Orthopedic Surgery, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Japan.	The clinical outcome of pazopanib treatment in Japanese patients with relapsed soft tissue sarcoma: A Japanese Musculoskeletal Oncology Group (JMOG) study.	Cancer122(9): 1408-16 2016	Journal Article

30	Takayasu Ito, Ryuji Okamoto, Takashi Tanigawa, Tatsuya Kawaguchi, Hideo Mizutani, Eitaro Fujii, Norikazu Yamada, Masaaki Ito	Department of Cardiology and Nephrology, Mie University Graduate School of Medicine.	Severely Calcified and Dilated Meandering Mesenteric Artery Complicating Abdominal Aorta Stenosis.	Circ. J.80(5): 1267-8 2016	Case Reports
31	Ryutaro Tanizaki, Masaki Oya, Yousuke Takemura	Department of Community Medicine, IGA, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu-city, Mie, Japan.	Purpura on the truncus and extremities.	Emerg Med J(): 2016	JOURNAL ARTICLE
32	Susumu Nakahashi, Tomomi Yamada, Toru Ogura, Ken Nakajima, Kei Suzuki, Hiroshi Imai	Department of Emergency and Critical Care Center, Mie University Hospital, Tsu, Mie, Japan.	Association of Patient Care with Ventilator- Associated Conditions in Critically Ill Patients: Risk Factor Analysis.	PLoS ONE11(4): e0153060 2016	Journal Article
33	Tetsushiro Takeuchi, Naoki Fujimoto, Kaoru Dohi, Kazuko Ino, Fumihiko Monma, Naoyuki Katayama, Masaaki Ito	Department of Cardiology and Nephrology, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Japan.	Acute pulmonary edema with new giant V wave immediately after pericardiocentesis.	Int. J. Cardiol.212(): 253-4 2016	Journal Article
34	Akiko Oka, Kengo Ikesugi, Mineo Kondo	Department of Ophthalmology, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Japan.	Idiopathic Intracranial Hypertension in a Prepubertal Pediatric Japanese Patient Complicated by Severe Papilledema.	Case Rep Ophthalmol7(1): 148-53 2016	Journal Article
35	Akinobu Nishimura, Akihiko Matsumine, Ko Kato, Kunihiro Aasanuma, Tomoki Nakamura, Aki Fukuda, Akihiro Sudo	Assistant Professor, Department of Orthopaedic and Sports Medicine, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu City, Japan; Assistant Professor, Department of Orthopaedic Surgery, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu City, Japan. Electronic address: meiten@clin.medic.mie-u.ac.jp.	Endoscopic Versus Open Surgery for Calcaneal Bone Cysts: A Preliminary Report.	J Foot Ankle Surg55(4): 782- 7 2016	Journal Article
36	Hiroshi Sakaida, Tomotaka Miyamura, Yasunori Matsuda, Kazuhiko Takeuchi	Department of Otorhinolaryngology-Head and Neck Surgery, Mie University Graduate School of Medicine, 2-174 Edobashi, Tsu, Mie 514-8507 Japan.	Dual-incision approach for excision of postauricular sinus.	Eur J Plast Surg39(): 159- 160 2016	JOURNAL ARTICLE
37	Masato Okigami, Koji Tanaka, Yasuhiro Inoue, Susumu Saigusa, Yoshinaga Okugawa, Yuji Toiyama, Yasuhiko Mohri, Masato Kusunoki	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Division of Reparative Medicine, Institute of Life Sciences, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Mie 514-8507, Japan.	Intravital imaging of the effects of 5- fluorouracil on the murine liver microenvironment using 2-photon laser scanning microscopy.	Oncol Lett11(4): 2433-2439 2016	JOURNAL ARTICLE
38	Masaya Fujiwara, Kazuki Kanayama, Yoshifumi S Hirokawa, Taizo Shiraishi	Department of Oncological Pathology, Institute of Molecular and Experimental Medicine, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Mie 514-8507, Japan.	ASF-4-1 fibroblast-rich culture increases chemoresistance and mTOR expression of pancreatic cancer BxPC-3 cells at the invasive front in vitro, and promotes tumor growth and invasion in vivo.	Oncol Lett11(4): 2773-2779 2016	Journal Article
39	Satoshi Oki, Mikihiro Inoue, Kohei Otake, Kohei Matsushita, Yuhki Koike, Keiichi Uchida, Masato Kusunoki	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Mie, Japan.	Laparoscopic repair of bladder rupture in a neonate.	Int. J. Urol.23(6): 520-522 2016	CASE REPORTS

40	Nagisa Hara, Motoh Iwasa, Ryosuke Sugimoto, Rumi Mifuji-Moroka, Kyoko Yoshikawa, Eriko Terasaka, Ayana Hattori, Masumi Ishidome, Yoshinao Kobayashi, Hiroshi Hasegawa, Kazuko Iwata, Yoshiyuki Takei	Nutrition Unit, Mie University Hospital, Japan.	Sarcopenia and Sarcopenic Obesity Are Prognostic Factors for Overall Survival in Patients with Cirrhosis.	Intern. Med.55(8): 863-70 2016	Journal Article
41	Reiko Yamada, Hiroyuki Inoue, Naohiko Yoshizawa, Takashi Kitade, Shunsuke Tano, Takashi Sakuno, Tetsuro Harada, Misaki Nakamura, Masaki Katsurahara, Yasuhiko Hamada, Kyosuke Tanaka, Noriyuki Horiki, Yoshiyuki Takei	Department of Gastroenterology and Hepatology, Mie University Graduate School of Medicine, Japan.	Peripancreatic Tuberculous Lymphadenitis with Biliary Obstruction Diagnosed by Endoscopic Ultrasound-guided Fine-needle Aspiration Biopsy.	Intern. Med.55(8): 919-23 2016	Journal Article
42	Masashi Fujimoto, Masato Shiba, Fumihiko Kawakita, Lei Liu, Asuka Nakasaki, Naoshi Shimojo, Kyoko Imanaka-Yoshida, Toshimichi Yoshida, Hidenori Suzuki	Department of Neurosurgery, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Japan.	Epidermal growth factor-like repeats of tenascin-C-induced constriction of cerebral arteries via activation of epidermal growth factor receptors in rats.	Brain Res.1642(): 436-44 2016	Journal Article
43	Yoshiki Okita, Toshimitsu Araki, Keiichi Uchida, Kohei Matsushita, Mikio Kawamura, Yuhki Koike, Kohei Otake, Mikihiro Inoue, Yuji Toiyama, Masaki Ohi, Koji Tanaka, Yasuhiro Inoue, Yasuhiko Mohri, Masato Kusunoki	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Division of Reparative Medicine, Institute of Life Sciences, Mie University Graduate School of Medicine, Japan.	Secondary pouchitis in a pediatric patient successfully treated by salvage surgery.	Pediatr Int58(7): 625-8 2016	Case Reports
44	R Yasuda, M Maeda, M Umino, Y Nakatsuka, Y Umeda, N Toma, H Sakaida, H Suzuki	From the Departments of Neurosurgery (R.Y., Y.N., Y.U., N.T., H.Sakaida, H.Suzuki) and Radiology (M.U., M.M.), Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Mie, Japan. yasudar1@gmail.com.	Suspected Metallic Embolism following Endovascular Treatment of Intracranial Aneurysms.	AJNR Am J Neuroradiol(): 2016	JOURNAL ARTICLE
45	Yoya Tomita, Masaki Ishida, Yasutaka Ichikawa, Naohisa Suzawa, Shigeki Kobayashi, Hisato Maeda, Kan Takeda, Hajime Sakuma	Central Division of Radiology, Mie University Hospital, Tsu, Mie, Japan.	The Effect of Misregistration Between CT-Attenuation and PET-Emission Images in <sup>13</sup> N-Ammonia Myocardial PET/CT.	J Nucl Med Technol44(2): 73-7 2016	Journal Article
46	Tomoko Ogawa, Tomomi Yamakawa	Department of Breast Surgery, Mie University Graduate School of Medicine, Mie, Japan. Electronic address: mokomoko@clin.medic.mie-u.ac.jp.	A case report of total breast reconstruction using an inframammary adipofascial flap with an implant.	Int J Surg Case Rep23(): 109-11 2016	Journal Article
47	Takayasu Ito, Ryuji Okamoto, Masaya Taniguchi, Masaki Tanabe, Haruna Komatsubara, Norikazu Yamada, Masaaki Ito	a Department of Cardiology and Nephrology , Mie University Graduate School of Medicine , Mie , Japan.	Hypertensive emergency preceding the progression of periaortitis and retroperitoneal fibrosis: case report and review of the literature.	Blood Press.25(5): 327-30 2016	Case Reports
48	Toshimitsu Araki, Yoshiki Okita, Mikio Kawamura, Satoru Kondo, Minako Kobayashi, Masaki Ohi, Yuji Toiyama, Koji Tanaka, Yasuhiro Inoue, Keiichi Uchida, Yasuhiko Mohri, Masato Kusunoki	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Japan.	Endoscopy-assisted transanal repair of afferent limb obstruction and long efferent limb with ileopexy after ileal J-pouch-anal anastomosis.	Asian J Endosc Surg9(2): 167-9 2016	Journal Article
49	Katsuhiro Inoue, Masayuki Maeda, Maki Umino, Shinichi Takase, Tsunehiro Yamahata, Hajime Sakuma	Department of Radiology, Mie University Hospital, Japan.	Cervical carotid plaque evaluation using 3D T1-weighted black-blood magnetic resonance imaging: Comparison of turbo field-echo and turbo spin-echo sequences.	Eur J Radiol85(5): 1035-9 2016	Comparative Study

50	Hiroyuki Kato, Takashi Hamada, Naohisa Kuriyama, Takahiro Ito, Shoichi Magawa, Yoshinori Azumi, Masashi Kishiwada, Shugo Mizuno, Masanobu Usui, Hiroyuki Sakurai, Shuji Isaji	Department of Hepatobiliary Pancreatic and Transplant Surgery, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Mie, Japan.	Role of spleen in hepatic ischemia reperfusion injury: Splenic congestion during ischemia accelerates leukocyte infiltration within the liver after reperfusion.	Hepatol. Res.47(3): E132-E141 2017	Journal Article
51	Yukito Ueda, Masayuki Satoh, Ken-Ichi Tabei, Hirotaka Kida, Yuichiro Ii, Masaru Asahi, Masayuki Maeda, Hajime Sakuma, Hidekazu Tomimoto	Department of Dementia Prevention and Therapeutics, Graduate School of Medicine, Mie University, Mie, Japan.	Neuropsychological Features of Microbleeds and Cortical Microinfarct Detected by High Resolution Magnetic Resonance Imaging.	J. Alzheimers Dis.53(1): 315-25 2016	Journal Article
52	Takuya Iwamoto, Hiroko Sugimoto, Tsutomu Tabata, Masahiro Okuda	Department of Pharmacy, Mie University Hospital, Tsu, Mie, Japan. Electronic address: taku- iwa@clin.medic.mie-u.ac.jp.	Clinical Utility of Basophil CD203c as a Biomarker for Predicting the Timing of Hypersensitivity Reaction in Carboplatin Rechallenge: Three Case Reports.	Clin Ther38(6): 1537-41 2016	Journal Article
53	Kyoko Kobayashi, Motoko Yamaguchi, Kana Miyazaki, Hiroshi Imai, Kaori Yokoe, Ryoichi Ono, Tetsuya Nosaka, Naoyuki Katayama	Department of Hematology and Oncology, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Japan.	Expressions of SH3BP5, LMO3, and SNAP25 in diffuse large B-cell lymphoma cells and their association with clinical features.	Cancer Med5(8): 1802-9 2016	Journal Article
54	Masahiro Hasegawa, Takahiro Iino, Akihiro Sudo	Department of Orthopaedic Surgery, Mie University Graduate School of Medicine, 2-174 Edobashi, Tsu, Mie, 514-8507, Japan. masahase@clin.medic.mie-u.ac.jp.	Immune response in adverse reactions to metal debris following metal-on-metal total hip arthroplasty.	BMC Musculoskelet Disord17(): 221 2016	Journal Article
55	Mai Shibusawa, Ryohei Nakayama, Yuko Okanami, Yumi Kashikura, Nao Imai, Takashi Nakamura, Hiroko Kimura, Masako Yamashita, Noriko Hanamura, Tomoko Ogawa	Department of Breast Surgery, Mie University Hospital, 2-174 Edobashi, Tsu City, Mie, 514-8507, Japan. shibu-m@clin.medic.mie-u.ac.jp.	The usefulness of a computer-aided diagnosis scheme for improving the performance of clinicians to diagnose non-mass lesions on breast ultrasonographic images.	J Med Ultrason (2001)43(3): 387-94 2016	Journal Article
56	Ryoma Sasaki, Yutaka Yano, Taro Yasuma, Yuki Onishi, Toshinari Suzuki, Noriko Maruyama-Furuta, Esteban C Gabazza, Yasuhiro Sumida, Yoshiyuki Takei	Department of Diabetes, Metabolism and Endocrinology, Mie University Graduate School of Medicine, Japan.	Association of Waist Circumference and Body Fat Weight with Insulin Resistance in Male Subjects with Normal Body Mass Index and Normal Glucose Tolerance.	Intern. Med.55(11): 1425-32 2016	Journal Article
57	Hiroyuki Fujikawa, Toshimitsu Araki, Yoshiki Okita, Satoru Kondo, Mikio Kawamura, Junichiro Hiro, Yuji Toiyama, Minako Kobayashi, Koji Tanaka, Yasuhiro Inoue, Yasuhiko Mohri, Keiichi Uchida, Masato Kusunoki	Division of Reparative Medicine, Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Institute of Life Sciences, Mie University Graduate School of Medicine, 2-174 Edobashi, Tsu, Mie, 514-8507, Japan. f0609@clin.medic.mie-u.ac.jp.	Impact of sarcopenia on surgical site infection after restorative proctocolectomy for ulcerative colitis.	Surg. Today47(1): 92-98 2017	Journal Article
58	Masanori Tsuji, Tatsuya Ishikawa, Fujimaro Ishida, Kazuhiro Furukawa, Yoichi Miura, Masato Shiba, Takanori Sano, Hiroshi Tanemura, Yasuyuki Umeda, Shinichi Shimosaka, Hidenori Suzuki	Department of Neurosurgery, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Mie;	Stagnation and complex flow in ruptured cerebral aneurysms: a possible association with hemostatic pattern.	J. Neurosurg.(): 1-7 2016	JOURNAL ARTICLE
59	K Asanuma, T Yoshikawa, K Yoshida, T Okamoto, Y Asanuma, T Hayashi, N Akita, T Oi, A Nishimura, M Hasegawa, A Sudo	Mie University School of Medicine Department of Orthopedic Surgery Tsu City, Mie Japan kasanum@gmail.com.	Argatroban more effectively inhibits the thrombin activity in synovial fluid than naturally occurring thrombin inhibitors.	Cell. Mol. Biol. (Noisy-le-grand)62(6): 27-32 2016	Journal Article

60	Tomohiko Kurata, Takuya Iwamoto, Yuki Kawahara, Masahiro Okuda	Department of Clinical Pharmacy and Biopharmaceutics, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Japan.	Corrigendum to "Characteristics of pemetrexed transport by renal basolateral organic anion transporter hOAT3" [Drug Metab Pharmacokinet 29 (2) (2014) 148–153].	Drug Metab. Pharmacokinet.31(3): 260 2016	Published Erratum
61	Mohammed Omar Al Salihi, Masayoshi Kobayashi, Kengo Tamari, Tomotaka Miyamura, Kazuhiko Takeuchi	Department of Otorhinolaryngology–Head and Neck Surgery, Mie University Graduate School of Medicine, 2–174 Edobashi, Tsu, Mie 514–8507, Japan.	Tumor necrosis factor– $\alpha$ antagonist suppresses local inflammatory reaction and facilitates olfactory nerve recovery following injury.	Auris Nasus Larynx44(1): 70–78 2017	Journal Article
62	Yasuhiro Inoue, Susumu Saigusa, Junichiro Hiro, Yuji Toiyama, Toshimitsu Araki, Koji Tanaka, Yaushiko Mohri, Masato Kusunoki	Division of Reparative Medicine, Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Institute of Life Sciences, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Mie 514–8507, Japan.	Clinical significance of enlarged lateral pelvic lymph nodes before and after preoperative chemoradiotherapy for rectal cancer.	Mol Clin Oncol4(6): 994–1002 2016	Journal Article
63	Takatoshi Higashigawa, Noriyuki Kato, Shuji Chino, Takashi Hashimoto, Hideto Shimpo, Toshiya Tokui, Toru Mizumoto, Tomoaki Sato, Manabu Okabe, Hajime Sakuma	Department of Radiology, Mie University Hospital, Mie, Japan. Electronic address: mar.adriatico0501@gmail.com.	Type A Aortic Dissection After Thoracic Endovascular Aortic Repair.	Ann. Thorac. Surg.102(5): 1536–1542 2016	Journal Article
64	K Yamanaka, H Mizutani	Department of Dermatology, Mie University, Graduate School of Medicine, 2–174 Edobashi, Tsu, Mie, 514–8507, Japan. yamake@clin.medic.mie-u.ac.jp.	A new biomarker for psoriasis.	Br. J. Dermatol.174(6): 1191–2 2016	Journal Article
65	K Nishikawa, T Hasegawa, A Usami, A Urawa, S Watanabe, S Mizuno, S Isaji, Y Sugimura, M Okada	Department of Nephro–Urologic Surgery and Andrology, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Mie, Japan; Organ Transplantation Center, Mie University Hospital, Tsu, Mie, Japan. Electronic address: kouheini@clin.medic.mie-u.ac.jp.	Pre–operative Assessment of Psychological Characteristics and Mood States in Living Donor Kidney and Liver Transplantation.	Transplant. Proc.48(4): 1018–21 2016	Journal Article
66	A Tanemura, S Mizuno, H Kato, Y Murata, N Kuriyama, Y Azumi, M Kishiwada, M Usui, H Sakurai, S Isaji	Department of Hepatobiliary Pancreatic and Transplant Surgery, Mie University Graduate School of Medicine, 2–174 Edobashi, Tsu, Mie, Japan.	D–MELD, the Product of Donor Age and Preoperative MELD, Predicts Surgical Outcomes After Living Donor Liver Transplantation, Especially in the Recipients With HCV–positive and Smaller Grafts.	Transplant. Proc.48(4): 1025–31 2016	Journal Article
67	H Kato, M Usui, Y Muraki, A Tanemura, Y Murata, N Kuriyama, Y Azumi, M Kishiwada, S Mizuno, H Sakurai, M Okuda, K Nakatani, S Isaji	Department of Hepatobiliary Pancreatic and Transplant Surgery, Mie University Hospital, Mie, Japan.	Long–Term Influence of CYP3A5 Gene Polymorphism on Pharmacokinetics of Tacrolimus and Patient Outcome After Living Donor Liver Transplantation.	Transplant. Proc.48(4): 1087–94 2016	Journal Article
68	Y Murata, S Mizuno, H Kato, A Tanemura, N Kuriyama, Y Azumi, M Kishiwada, M Usui, H Sakurai, M Fujimori, T Yamanaka, A Nakatsuka, K Yamakado, S Isaji	Department of Hepatobiliary Pancreatic and Transplant Surgery, Mie University Graduate School of Medicine, Mie, Japan.	Technical Feasibility and Clinical Outcomes of Interventional Endovascular Treatment for Hepatic Artery Thrombosis After Living–donor Liver Transplantation.	Transplant. Proc.48(4): 1142–8 2016	Journal Article
69	M Usui, K Sugimoto, H Kato, Y Murata, A Tanemura, N Kuriyama, Y Azumi, M Kishiwada, S Mizuno, H Sakurai, Y Takei, S Isaji	Department of Hepatobiliary Pancreatic and Transplant Surgery, Mie Graduate School of Medicine, Tsu, Mie, Japan. Electronic address: m-usui@clin.medic.mie-u.ac.jp.	Discontinuation of Hepatitis B Immunoglobulin by Long–term Hepatitis B Vaccine Inoculation in Preventing Hepatitis B Recurrence After Liver Transplantation.	Transplant. Proc.48(4): 1179–83 2016	Journal Article

70	T Matsui, M Usui, K Fujinaga, K Nakatani, Y Iizawa, H Kato, A Tanemura, Y Murata, Y Azumi, N Kuriyama, M Kishiwada, S Mizuno, H Sakurai, S Isaji	Department of Hepatobiliary Pancreatic and Transplant Surgery, Mie University Graduate School of Medicine, Mie, Japan.	Influence of Angiotensin-converting Enzyme Genetic Polymorphism on Late Renal Dysfunction After Adult-to-adult Living-donor Liver Transplantation.	Transplant. Proc.48(4): 1184-9 2016	Journal Article
71	H Kato, M Usui, Y Iizawa, A Tanemura, Y Murata, N Kuriyama, M Kishiwada, S Mizuno, H Sakurai, M Inoue, K Uchida, S Isaji	Department of Hepatobiliary Pancreatic and Transplant Surgery, Mie University Hospital, Mie, Japan.	Living Donor Liver Transplantation for Biliary Atresia With Severe Preduodenal Portal Vein Stricture: Success and Pitfall of Portal Vein Reconstruction.	Transplant. Proc.48(4): 1218-20 2016	Case Reports
72	N Kuriyama, Y Iizawa, H Kato, Y Murata, A Tanemura, Y Azumi, M Kishiwada, M Usui, H Sakurai, S Isaji	Departments of Hepatobiliary Pancreatic and Transplant Surgery, Mie University Graduate School of Medicine, Mie, Japan. Electronic address: naokun@clin.medic.mie-u.ac.jp.	Impact of Splenectomy Just Before Partial Orthotopic Liver Transplantation Using Small-for-Size Graft in Rats.	Transplant. Proc.48(4): 1304-8 2016	Journal Article
73	Masahiko Sugimoto, Mineo Kondo	Department of Ophthalmology, Mie University, Graduate School of Medicine, 2-174 Edobashi, Tsu, Mie 514-8507, Japan.	Lecithin-Bound Iodine Prevents Disruption of Tight Junctions of Retinal Pigment Epithelial Cells under Hypoxic Stress.	J Ophthalmol2016(): 9292346 2016	Journal Article
74	Yoshinaga Okugawa, Yuji Toiyama, Yasuhiko Mohri, Koji Tanaka, Mikio Kawamura, Junichiro Hiro, Toshimitsu Araki, Yasuhiro Inoue, Chikao Miki, Masato Kusunoki	Division of Reparative Medicine, Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Institute of Life Sciences, Mie University Graduate School of Medicine, Mie, Japan.	Elevated serum concentration of monocyte chemotactic protein 4 (MCP-4) as a novel non-invasive prognostic and predictive biomarker for detection of metastasis in colorectal cancer.	J Surg Oncol114(4): 483-9 2016	Journal Article
75	Motoh Iwasa, Ryosuke Sugimoto, Rumi Mifuji-Moroka, Nagisa Hara, Kyoko Yoshikawa, Hideaki Tanaka, Akiko Eguchi, Norihiko Yamamoto, Kazushi Sugimoto, Yoshinao Kobayashi, Hiroshi Hasegawa, Yoshiyuki Takei	Department of Gastroenterology and Hepatology, Graduate School of Medicine, Mie University, Edobashi 2-174, Tsu, Mie, 514-8507, Japan. motoh@clin.medic.mie-u.ac.jp.	Factors contributing to the development of overt encephalopathy in liver cirrhosis patients.	Metab Brain Dis31(5): 1151-6 2016	Journal Article
76	Shuji Chino, Noriyuki Kato, Yoshihiro Noda, Kensuke Oue, Satofumi Tanaka, Takashi Hashimoto, Takatoshi Higashigawa, Yoichiro Miyake, Manabu Okabe	Department of Radiology, Mie University Hospital, Tsu, Mie, Japan.	Treatment of Infected Aneurysms of the Abdominal Aorta and Iliac Artery with Endovascular Aneurysm Repair and Percutaneous Drainage.	Ann Vasc Surg36(): 289.e11-289.e15 2016	Case Reports
77	Tomohiro Murata, Kan Katayama, Toshitaka Oohashi, Timo Jahnukainen, Tomoko Yonezawa, Yoshikazu Sado, Eiji Ishikawa, Shinsuke Nomura, Karl Tryggvason, Masaaki Ito	Department of Cardiology and Nephrology, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Japan.	COL4A6 is dispensable for autosomal recessive Alport syndrome.	Sci Rep6(): 29450 2016	Journal Article
78	Yasuyuki Tamai, Hideaki Tanaka, Kyoko Yoshikawa, Ryosuke Sugimoto, Koyo Higashitani, Rumi Morooka, Norihiko Yamamoto, Hiroshi Hasegawa, Motoh Iwasa, Yoshiyuki Takei	Department of Gastroenterology and Hepatology, Mie University Hospital.	A case of a solitary Mycobacterium avium complex lesion of the liver.	Nihon Shokakibyō Gakkai Zasshi113(7): 1230-5 2016	Journal Article
79	Yuji Toiyama, Junichiro Hiro, Tadanobu Shimura, Hiroyuki Fujikawa, Masaki Ohi, Koji Tanaka, Yasuhiro Inoue, Yasuhiko Mohri, Masato Kusunoki	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Division of Reparative Medicine, Institute of Life Sciences, Graduate School of Medicine, Mie University, Tsu, Mie, 514-8507, Japan. ytoi0725@clin.medic.mie-u.ac.jp.	The impact of body mass index on oncological outcomes in colorectal cancer patients with curative intent.	Int. J. Clin. Oncol.(): 2016	JOURNAL ARTICLE

80	Yasuhiro Inoue, Hideyuki Ishida, Hideki Ueno, Hirotohi Kobayashi, Tatsuro Yamaguchi, Tsuyoshi Konishi, Naohiro Tomita, Nagahide Matsubara, Fumio Ishida, Takao Hinoi, Yukihide Kanemitsu, Toshiaki Watanabe, Kenichi Sugihara	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Division of Reparative Medicine, Institute of Life Sciences, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Mie yasinoue@clin.medic.mie-u.ac.jp.	Therapeutic approaches for patients with coexisting familial adenomatous polyposis and colorectal cancer.	Jpn. J. Clin. Oncol.46(9): 819-24 2016	Journal Article
81	Hiroshi Nakajima, Kaoru Dohi, Masaki Tanabe, Akiko Nakamura, Shinji Kanemitsu, Hideo Wada, Norikazu Yamada, Tsutomu Nobori, Hideto Shinpo, Masaaki Ito	Department of Cardiology and Nephrology, Mie University Graduate School of Medicine, Japan.	Infective Endocarditis Caused by Pantone-Valentine Leukocidin-producing Methicillin-susceptible Staphylococcus aureus Identified by the Broad-range PCR Method.	Intern. Med.55(14): 1871-5 2016	Journal Article
82	Tetsutaro Mizuno, Yuichi Kasai, Toshihiko Sakakibara, Takamasa Yoshikawa, Tadashi Inaba	Department of Spinal Surgery and Medical Engineering, Mie University Graduate School of Medicine, 2-174 Edobashi, Tsu City, Mie 514-8507 Japan.	Biomechanical study of rotational micromovement of the pedicle screw.	Springerplus5(1): 1016 2016	Journal Article
83	Tadanobu Shimura, Yuji Toyama, Junichiro Hiro, Hiroki Imaoka, Hiroyuki Fujikawa, Minako Kobayashi, Masaki Ohi, Yasuhiro Inoue, Yasuhiko Mohri, Masato Kusunoki	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Division of Reparative Medicine, Institute of Life Sciences, Graduate School of Medicine, Mie University, Mie, Japan. Electronic address: t-shimura@clin.medic.mie-u.ac.jp.	Monitoring perioperative serum albumin can identify anastomotic leakage in colorectal cancer patients with curative intent.	Asian J Surg(): 2016	JOURNAL ARTICLE
84	Ken Nakajima, Takashi Yamanaka, Atsuhiko Nakatsuka, Takaki Haruyuki, Masashi Fujimori, Yuichi Sugino, Naritaka Matsushita, Hajime Sakuma, Shuji Isaji, Yoshiyuki Takei, Koichiro Yamakado	Department of Radiology, Mie University School of Medicine, 2-174 Edobashi, Tsu, Mie, 514-8507, Japan. k-nakajima@clin.medic.mie-u.ac.jp.	Clinical utility of radiofrequency ablation following transarterial injection of miriplatin-iodized oil suspension in small hepatocellular carcinoma.	Jpn J Radiol34(9): 640-6 2016	Journal Article
85	Hisashi Matsubara, Ryohei Miyata, Maki Kobayashi, Hideyuki Tsukitome, Kengo Ikesugi, Mineo Kondo	Department of Ophthalmology, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Japan.	A Case of Sustained Intraocular Pressure Elevation after Multiple Intravitreal Injection of Ranibizumab and Aflibercept for Neovascular Age-Related Macular Degeneration.	Case Rep Ophthalmol7(1): 230-6 2016	Journal Article
86	Kenji Ikemura, Yugo Hamada, Chinatsu Kaya, Tomoyuki Enokiya, Yuichi Muraki, Hiroki Nakahara, Hajime Fujimoto, Tetsu Kobayashi, Takuya Iwamoto, Masahiro Okuda	Department of Clinical Pharmacy and Biopharmaceutics, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu (K.I., Y.H., T.I., M.O.); Department of Pharmacy, Mie University Hospital, Tsu (K.I., T.E., Y.M., T.I., M.O.); Faculty of Pharmaceutical Sciences, Suzuka University of Medical Science, Suzuka (C.K.); Department of Pulmonary and Critical Care Medicine, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu (H.N., H.F., T.K.), Mie, Japan.	Lansoprazole Exacerbates Pemetrexed-Mediated Hematologic Toxicity by Competitive Inhibition of Renal Basolateral Human Organic Anion Transporter 3.	Drug Metab. Dispos.44(10): 1543-9 2016	Journal Article
87	Keiichi Uchida, Atsushi Nakajima, Kosuke Ushijima, Shinobu Ida, Yoshitaka Seki, Fumihiko Kakuta, Daiki Abukawa, Hisayuki Tsukahara, Shun-Ichi Maisawa, Mikihiro Inoue, Toshimitsu Araki, Junji Umeno, Takayuki Matsumoto, Tomoaki Taguchi	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Mie University Graduate School of Medicine, Mie, Japan.	Pediatric Onset Chronic Nonspecific Multiple Ulcers of Small Intestine: A Nationwide Survey and Genetic Study in Japan.	J. Pediatr. Gastroenterol. Nutr.(): 2016	JOURNAL ARTICLE
88	Kazuyuki Gyoten, Shugo Mizuno, Hirayuki Kato, Yasuhiro Murata, Akihiro Tanemura, Yoshinori Azumi, Naohisa Kuriyama, Masashi Kishiwada, Masanobu Usui, Hirayuki Sakurai, Shuji Isaji	Department of Hepatobiliary Pancreatic and Transplant Surgery, Mie University School of Medicine, Tsu, Mie, Japan.	A Novel Predictor of Posttransplant Portal Hypertension in Adult-To-Adult Living Donor Liver Transplantation: Increased Estimated Spleen/Graft Volume Ratio.	Transplantation100(10): 2138-45 2016	Journal Article
89	Akinobu Nishimura, Shigeto Nakazora, Aki Fukuda, Ko Kato, Akihiro Sudo	Department of Orthopaedic and Sports Medicine, Graduate School of Medicine, Mie University, 2-174 Edobashi, Tsu, Mie 514-8507, Japan.	Ultrasound Guidance in Performing a Tendonoscopic Surgery to Treat Posterior Tibial Tendinitis: A Useful Tool?	Case Rep Orthop2016(): 7262413 2016	Journal Article

90	Kei Suzuki, Akiko Nakamura, Ken Ishikura, Hiroshi Imai	Mie University Hospital, Emergency and Critical Care Center, Tsu, Mie, Japan Department of Hematology and Oncology, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Mie, Japan.	Recurrent SDSE bacteraemia resulting in streptococcal toxic shock syndrome in a patient with Noonan syndrome.	BMJ Case Rep2016(): 2016	Journal Article
91	Hiroyuki Morishita, Satoshi Nakamura, Naoki Toma, Yoshinari Nakatsuka, Kazuhiko Takeuchi	Department of Otorhinolaryngology, Head & Neck Surgery, Mie University Graduate School of Medicine, 2-174 Edobashi, Tsu, Mie 514-8507, Japan.	A case of vertebral artery aneurysm presenting with dysphagia.	Auris Nasus Larynx(): 2016	JOURNAL ARTICLE
92	H Imaoka, Y Toiyama, H Fujikawa, J Hiro, S Saigusa, K Tanaka, Y Inoue, Y Mohri, T Mori, T Kato, S Toden, A Goel, M Kusunoki	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Mie.	Circulating microRNA-1290 as a novel diagnostic and prognostic biomarker in human colorectal cancer.	Ann. Oncol.27(10): 1879-86 2016	Journal Article
93	Masahiro Hasegawa, Shinichi Miyazaki, Toshio Yamaguchi, Hiroki Wakabayashi, Akihiro Sudo	Department of Orthopaedic Surgery, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Mie, Japan.	Comparison of Midterm Outcomes of Minimally Invasive Computer-Assisted vs Minimally Invasive Jig-Based Total Knee Arthroplasty.	J Arthroplasty32(1): 43-46 2017	Journal Article
94	Akihiko Matsumine, Masaya Tsujii, Tomoki Nakamura, Kunihiro Asanuma, Takao Matsubara, Takuya Kakimoto, Yuki Yada, Akinori Takada, Noriko Ii, Yoshihito Nomoto, Akihiro Sudo	Department of Orthopaedic Surgery, Mie University Graduate School of Medicine, 2-174 Edobashi, Tsu City, Mie, 514-8507, Japan. matsumin@clin.medic.mie-u.ac.jp.	Minimally invasive surgery using intraoperative electron-beam radiotherapy for the treatment of soft tissue sarcoma of the extremities with tendon involvement.	World J Surg Oncol14(1): 214 2016	Journal Article
95	Tetsushiro Takeuchi, Kaoru Dohi, Yuichi Sato, Shinji Kanemitsu, Saki Sugiura, Katsunori Uchida, Norikazu Yamada, Misao Takeuchi, Taizo Shiraishi, Hideto Shimpo, Masaaki Ito	Department of Cardiology and Nephrology, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Japan.	Calcified amorphous tumor of the heart in a hemodialysis patient.	Echocardiography(): 2016	JOURNAL ARTICLE
96	Keishi Moriwaki, Ryuji Okamoto, Haruno Sakuma, Yasuo Suzuki, Masaki Tanabe, Norikazu Yamada, Masaaki Ito	Department of Cardiology and Nephrology, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Japan.	Tracking isolated myocarditis in a young adult with acute rheumatic fever on cardiac magnetic resonance imaging.	Int. J. Cardiol.222(): 921-923 2016	JOURNAL ARTICLE
97	Hiroshi Sakaida, Kazuki Chiyonobu, Hajime Ishinaga, Kazuhiko Takeuchi	Department of Otorhinolaryngology, Head & Neck Surgery, Mie University Graduate School of Medicine, 2-174 Edobashi, Tsu, Mie 514-8507, Japan.	Use of a Rigid Curved Laryngoscope for Removal of a Fish Bone in the Hypopharynx.	Case Rep Otolaryngol2016(): 9689521 2016	Journal Article
98	Yasutaka Ichikawa, Yoya Tomita, Masaki Ishida, Shigeki Kobayashi, Kan Takeda, Hajime Sakuma	Department of Radiology, Mie University Hospital, 2-174 Edobashi, Tsu, Mie, 514-8507, Japan. yasutaka@clin.medic.mie-u.ac.jp.	Usefulness of abdominal belt for restricting respiratory cardiac motion and improving image quality in myocardial perfusion PET.	J Nucl Cardiol(): 2016	Journal Article
99	Tomoki Nakamura, Akihiko Matsumine, Satoshi Yamada, Satoshi Tsukushi, Katsuhisa Kawanami, Takatoshi Ohno, Hirohisa Katagiri, Hideshi Sugiura, Kenji Yamada, Yoshihisa Yamada, Akihiro Sudo, Yoshihiro Nishida	Department of Orthopaedic Surgery, Mie Graduate School of Medicine, Tsu-City, Mie.	Oncological outcome after lung metastasis in patients presenting with localized chondrosarcoma at extremities: Tokai Musculoskeletal Oncology Consortium study.	Onco Targets Ther9(): 4747-51 2016	Journal Article

100	Karin Okada, Keiichi Yamanaka, Masaaki Gyobu, Yoshiyuki Ito, Hitoshi Mizutani	Department of Dermatology, Graduate School of Medicine, Mie University, Tsu, Japan.	Well-controlled juvenile dermatomyositis over 20 years recurred after delivery.	J. Dermatol.(): 2016	LETTER
101	Manami Kuze, Takeshi Morita, Yumi Fukuda, Mineo Kondo, Kazuo Tsubota, Masahiko Ayaki	Department of Ophthalmology, Mie University Graduate School of Medicine, 2-174, Edobashi, Tsu, Mie 514-8507, Japan; Ophthalmology Clinic, Matsusaka Central General Hospital, 102 Kobo, Kawai-machi, Matsusaka, Mie 515-8566, Japan. Electronic address: manakuze@yahoo.co.jp.	Electrophysiological responses from intrinsically photosensitive retinal ganglion cells are diminished in glaucoma patients.	J Optom(): 2016	Journal Article
102	Kazuhiko Takeuchi, Masako Kitano, Hiroshi Sakaida, Sawako Masuda	Department of Otorhinolaryngology, Head & Neck Surgery, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Japan. Electronic address: kazuhiko@clin.medic.mie-u.ac.jp.	Novel syndrome with conductive hearing loss and congenital glaucoma in three generations.	Auris Nasus Larynx(): 2016	JOURNAL ARTICLE
103	Toshiki Sawai, Mika Fujimoto, Takayasu Ito, Tomohiro Murata, Eiji Ishikawa, Masaaki Ito	Department of Cardiology and Nephrology, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Japan. Electronic address: tsawai1974@yahoo.co.jp.	A case of atherosclerotic renal artery stenosis involving successful withdrawal from hemodialysis after percutaneous transluminal renal artery stenting.	Int. J. Cardiol.223(): 669-671 2016	JOURNAL ARTICLE
104	Yoshinaga Okugawa, Yasuhiko Mohri, Koji Tanaka, Mikio Kawamura, Susumu Saigusa, Yuji Toyama, Masaki Ohi, Yasuhiro Inoue, Chikao Miki, Masato Kusunoki	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Division of Reparative Medicine, Institute of Life Sciences, Mie University Graduate School of Medicine, Mie 514-8507, Japan.	Metastasis-associated protein is a predictive biomarker for metastasis and recurrence in gastric cancer.	Oncol. Rep.(): 2016	JOURNAL ARTICLE
105	Tomohito Hagi, Tomoki Nakamura, Ayumu Yokoji, Akihiko Matsumine, Akihiro Sudo	Department of Orthopedic Surgery, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Mie 514-8507, Japan.	Medullary metastasis of a malignant peripheral nerve sheath tumor: A case report.	Oncol Lett12(3): 1906-1908 2016	Journal Article
106	Keita Matsuura, Masayuki Maeda, Ken-Ichi Tabei, Maki Umino, Hiroyuki Kajikawa, Masayuki Satoh, Hirotaka Kida, Hidekazu Tomimoto	Department of Neurology, Graduate School of Medicine, Mie University, Mie 514-8507, Japan; Department of Neurology, Suzuka Kaisei Hospital, Mie 513-8505, Japan. Electronic address: matsuura@kaiseihp.com.	A longitudinal study of neuromelanin-sensitive magnetic resonance imaging in Parkinson's disease.	Neurosci. Lett.633(): 112-117 2016	Journal Article
107	Hiroyuki Kato, Yusuke Iizawa, Masashi Kishiwada, Masanobu Usui, Akiko Nakamura, Yasuhiro Murata, Akihiro Tanemura, Naohisa Kuriyama, Yoshinori Azumi, Shugo Mizuno, Hiroyuki Sakurai, Shuji Isaji	Department of Hepatobiliary Pancreatic and Transplant Surgery Mie University Mie, Japan khmnh0610@clin.medic.mie-u.ac.jp Department of Laboratory Medicine Mie University Mie, Japan Department of Hepatobiliary Pancreatic and Transplant Surgery Mie University Mie, Japan.	Negative Impact of Biliary Candidiasis on Early and Late Postoperative Complications After Pancreatoduodenectomy Usefulness of the CHROMagar Candida Plate for Identification.	Pancreas45(9): e45-7 2016	Journal Article
108	Kazuko Ino, Kazunori Nakase, Kei Suzuki, Akiko Nakamura, Atsushi Fujieda, Naoyuki Katayama	Department of Hematology and Oncology, Mie University Hospital, Tsu, Mie 514-8507, Japan.	Bacteremia due to Leuconostoc pseudomesenteroides in a Patient with Acute Lymphoblastic Leukemia: Case Report and Review of the Literature.	Case Rep Hematol2016(): 7648628 2016	Journal Article
109	Shinichi Kojima, Kei Suzuki, Naoyuki Katayama, Hiroshi Imai	Emergency and Critical Care Center, Mie University Hospital, Tsu, Mie, Japan.	Superior mesenteric artery syndrome as a cause of acute pancreatitis.	BMJ Case Rep2016(): 2016	Case Reports

110	Takayasu Ito, Eiji Ishikawa, Hiroshi Matsuo, Mika Fujimoto, Tomohiro Murata, Kenichi Isoda, Hitoshi Mizutani, Masaaki Ito	Department of Cardiology and Nephrology, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Japan.	Maintenance Hemodialysis Using Native Arteriovenous Fistula in a Patient with Severe Generalized Recessive Dystrophic Epidermolysis Bullosa.	Case Rep Nephrol Dial6(2): 96-100 2016	Journal Article
111	Shigeki Kobayashi, Mayumi Ogura, Naohisa Suzawa, Noriyuki Horiki, Masaki Katsurahara, Toru Ogura, Hajime Sakuma	Center for Preventive Medicine, Mie University Hospital, 2-174 Edobashi, Tsu, Mie, Pref. 514-8507, Japan. skhousya@clin.medic.mie-u.ac.jp.	(18)F-FDG uptake in the stomach on screening PET/CT: value for predicting Helicobacter pylori infection and chronic atrophic gastritis.	BMC Med Imaging16(1): 58 2016	Journal Article
112	Makoto Ikejiri, Hideo Wada, Norikazu Yamada, Maki Nakamura, Naoki Fujimoto, Kaname Nakatani, Akimasa Matsuda, Yoshihito Ogiwara, Takeshi Matsumoto, Yuki Kamimoto, Tomoaki Ikeda, Naoyuki Katayama, Masaaki Ito	Central Laboratory, Mie University Hospital, 2-174 Edobashi, Tsu, Mie, 514-8507, Japan.	High prevalence of congenital thrombophilia in patients with pregnancy-related or idiopathic venous thromboembolism/pulmonary embolism.	Int. J. Hematol.105(3): 272-279 2017	Journal Article
113	Hajime Ishinaga, Masako Kitano, Masaaki Toda, Corina N D'Alessandro-Gabazza, Esteban C Gabazza, Said Ahmad Shah, Kazuhiko Takeuchi	Department of Otorhinolaryngology-Head & Neck Surgery, Mie University Graduate School of Medicine, Japan. Electronic address: hajime@clin.medic.mie-u.ac.jp.	Interleukin-33 induces mucin gene expression and goblet cell hyperplasia in human nasal epithelial cells.	Cytokine90(): 60-65 2017	Journal Article
114	Makoto Kondo, Shigehiro Akachi, Naohisa Yamazoe, Keiichi Yamanaka, Hitoshi Mizutani	Department of Dermatology, Mie University Graduate School of Medicine, Mie, Japan.	Case with cellulitis, lymphangitis and subcutaneous nodule suspected due to Rickettsia japonica carrying tick bite.	J. Dermatol.(): 2016	Letter
115	Masahiro Hasegawa, Yohei Naito, Toshio Yamaguchi, Shinichi Miyazaki, Hiroki Wakabayashi, Akihiro Sudo	Department of Orthopaedic Surgery, Mie University Graduate School of Medicine, 2-174 Edobashi, Tsu City, Mie, 514-8507, Japan. masahase@clin.medic.mie-u.ac.jp.	Factors associated with symptomatic pseudotumors following metal-on-metal total hip arthroplasty.	BMC Musculoskelet Disord17(1): 456 2016	Journal Article
116	Shozo Ide, Toshimitsu Araki, Yoshiki Okita, Mikio Kawamura, Yuji Toiyama, Minako Kobayashi, Masaki Ohi, Koji Tanaka, Yasuhiro Inoue, Keiichi Uchida, Yasuhiko Mohri, Masato Kusunoki	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Mie University Graduate School of Medicine, 2-174 Edobashi, Tsu, Mie, 514-8507, Japan.	Outcome and functional prognosis of pelvic sepsis after ileal pouch-anal anastomosis in patients with ulcerative colitis.	Surg. Today47(3): 301-306 2017	Journal Article
117	Naohisa Kuriyama, Shuji Isaji, Akihiro Tanemura, Yusuke Iizawa, Hiroyuki Kato, Yasuhiro Murata, Yoshinori Azumi, Masashi Kishiwada, Shugo Mizuno, Masanobu Usui, Hiroyuki Sakurai	Department of Hepatobiliary Pancreatic and Transplant Surgery, Mie University Graduate School of Medicine, 2-174 Edobashi, Tsu City, Mie, 514-8507, Japan. naokun@clin.medic.mie-u.ac.jp.	Transhepatic Hilar Approach for Perihilar Cholangiocarcinoma: Significance of Early Judgment of Resectability and Safe Vascular Reconstruction.	J. Gastrointest. Surg.21(3): 590-599 2017	Journal Article
118	Michiko Kubo, Takashi Umekawa, Yuka Maekawa, Hiroaki Tanaka, Masafumi Nii, Nao Murabayashi, Kazuhiro Osato, Yuki Kamimoto, Tomoaki Ikeda	Department of Obstetrics and Gynecology, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Japan.	Retrospective study of tadalafil for fetal growth restriction: Impact on maternal and perinatal outcomes.	J. Obstet. Gynaecol. Res.43(2): 291-297 2017	Journal Article
119	Toshimitsu Araki, Yoshiki Okita, Mikio Kawamura, Satoru Kondo, Yuji Toiyama, Junichiro Hiro, Shigeyuki Yoshiyama, Keiichi Uchida, Masato Kusunoki	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Division of Reparative Medicine, Institute of Life Sciences, Mie University Graduate School of Medicine, 2-174 Edobashi, Tsu, Mie, 514-8507, Japan. taraki@clin.medic.mie-u.ac.jp.	Modified Martius flap procedure for refractory ileal pouch-vestibular fistula: a report of three cases.	Int J Colorectal Dis(): 2016	Journal Article

120	Manabu Kato, Satoru Masui, Hideki Kanda, Kiminobu Arima, Taizo Shiraishi, Yoshiki Sugimura	Division of Nephro-Urologic Surgery and Andrology, Department of Reparative and Regenerative Medicine, Institute of Medical Life Science, Mie University Graduate School of Medicine, 2-174 Edobashi, Tsu, Mie 514-8507, Japan.	Successful Preservation of the Bladder in a Case of Inflammatory Myofibroblastic Tumor with the Diagnostic Efficacy of ALK/p80 Immunohistochemistry and FISH Analysis: Case Report and Review of the Literature.	Urol Case Rep11(): 19-21 2017	Case Reports
121	Yoshito Ogihara, Norikazu Yamada, Kaoru Dohi, Akimasa Matsuda, Satoshi Ota, Ken Ishikura, Mashio Nakamura, Masaaki Ito	Department of Cardiology and Nephrology, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Mie 514-8507, Japan.	Effects of low-dose tolvaptan on electrolyte abnormality and hemodynamic parameters in a liver cirrhosis-associated portopulmonary hypertension patient: A case report.	Exp Ther Med13(1): 269-272 2017	Case Reports
122	Shugo Mizuno, Sachie Takeuchi, Masashi Kishiwada, Noriko Mizutani, Mikiko Matsuda, Noriko Sekoguchi, Yusuke Iizawa, Yoshinori Azumi, Naohisa Kuriyama, Masanobu Usui, Hiroyuki Sakurai, Kazuo Maruyama, Masahiro Okuda, Motohiro Okada, Shuji Isaji	Department of Hepatobiliary Pancreatic and Transplant Surgery, Mie University School of Medicine, Tsu, Japan.	Incidence and Risk Factors of Postoperative Delirium following Pancreatic Surgery: Does the Administration of TJ-54 Reduce the Incidence of Delirium?	Dig Surg(): 2017	Journal Article
123	Akhide Nakamura, Kei Suzuki, Hiroshi Imai, Naoyuki Katayama	Department of Hematology and Oncology, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Japan.	Metformin-associated lactic acidosis treated with continuous renal replacement therapy.	BMJ Case Rep2017(): 2017	Case Reports
124	Masashi Fujimoto, Masato Shiba, Fumihiro Kawakita, Lei Liu, Naoshi Shimojo, Kyoko Imanaka-Yoshida, Toshimichi Yoshida, Hidenori Suzuki	Department of Neurosurgery, Mie University Graduate School of Medicine, 2-174 Edobashi, Tsu, Mie, 514-8507, Japan.	Effects of Tenascin-C Knockout on Cerebral Vasospasm After Experimental Subarachnoid Hemorrhage in Mice.	Mol. Neurobiol(): 2017	Journal Article
125	Yasuhiro Inoue, Hideyuki Ishida, Hideki Ueno, Hirotohi Kobayashi, Tatsuro Yamaguchi, Tsuyoshi Konishi, Naohiro Tomita, Nagahide Matsubara, Fumio Ishida, Takao Hinoi, Yukihide Kanemitsu, Toshiaki Watanabe, Kenichi Sugihara	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Division of Reparative Medicine, Institute of Life Sciences, Mie University Graduate School of Medicine, 2-174 Edobashi, Tsu, Mie, 514-8507, Japan. yasinoue@clin.medic.mie-u.ac.jp.	The treatment of desmoid tumors associated with familial adenomatous polyposis: the results of a Japanese multicenter observational study.	Surg. Today(): 2017	Journal Article
126	Tadanobu Shimura, Yuji Toiyama, Susumu Saigusa, Hiroki Imaoka, Masato Okigami, Hiroyuki Fujikawa, Junichiro Hiro, Minako Kobayashi, Masaki Ohi, Toshimitsu Araki, Yasuhiro Inoue, Keiichi Uchida, Yasuhiko Mohri, Masato Kusunoki	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Division of Reparative Medicine, Institute of Life Sciences, Graduate School of Medicine, Mie University, Mie, 514-8507, Japan. t-shimura@clin.medic.mie-u.ac.jp.	Inflammation-based prognostic scores as indicators to select candidates for primary site resection followed by multimodal therapy among colorectal cancer patients with multiple metastases.	Int. J. Clin. Oncol(): 2017	Journal Article
127	Hiroyuki Fujikawa, Yuji Toiyama, Yasuhiro Inoue, Hiroki Imaoka, Tadanobu Shimura, Masato Okigami, Hiromi Yasuda, Junichiro Hiro, Shigeyuki Yoshiyama, Susumu Saigusa, Minako Kobayashi, Masaki Ohi, Toshimitsu Araki, Yasuhiko Mohri, Masato Kusunoki	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Division of Reparative Medicine, Institute of Life Sciences, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Japan f0609@clin.medic.mie-u.ac.jp.	Prognostic Impact of Preoperative Albumin-to-Globulin Ratio in Patients with Colon Cancer Undergoing Surgery with Curative Intent.	Anticancer Res.37(3): 1335-1342 2017	Journal Article
128	Yosuke Hirabayashi, Eiji Ishikawa, Masaaki Ito	Department of Cardiology and Nephrology, Mie University Graduate School of Medicine, 2-174 Edobashi, Tsu, Mie, 514-8507, Japan. hira-y@clin.medic.mie-u.ac.jp.	Bilateral renal hilar tumors in IgG4-related disease.	Clin. Exp. Nephrol(): 2017	Case Reports
129	Yoshifumi Ashikawa, Yuhei Nishimura, Shiko Okabe, Yumi Sato, Mizuki Yuge, Tomoko Tada, Haruka Miyao, Soichiro Murakami, Koki Kawaguchi, Shota Sasagawa, Yasuhito Shimada, Toshio Tanaka	Department of Molecular and Cellular Pharmacology, Pharmacogenomics and Pharmacoinformatics, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Mie, Japan.	Potential protective function of the sterol regulatory element binding factor 1-fatty acid desaturase 1/2 axis in early-stage age-related macular degeneration.	Heliyon3(3): e00266 2017	Journal Article

130	Takeshi Okada, Hidenori Suzuki	Department of Neurosurgery, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Japan.	Toll-like receptor 4 as a possible therapeutic target for delayed brain injuries after aneurysmal subarachnoid hemorrhage.	Neural Regen Res12(2): 193-196 2017	Journal Article
131	Masahiro Hasegawa, Hideo Wada, Toshio Yamaguchi, Hiroki Wakabayashi, Naoki Fujimoto, Takeshi Matsumoto, Kei Hasegawa, Norikazu Yamada, Masaaki Ito, Yoshiki Yamashita, Naoyuki Katayama, Kaname Nakatani, Akihiro Sudo	Department of Orthopaedic Surgery, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Japan.	The Evaluation of D-Dimer Levels for the Comparison of Fibrinogen and Fibrin Units Using Different D-Dimer Kits to Diagnose VTE.	Clin. Appl. Thromb. Hemost.(.): 1076029617706755 2017	Journal Article

計131件

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合には、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること  
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。  
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1					Original Article
2					Case report
3					
～					

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 目的, 定義, 設置者の責務, 委員会等の役割・責務, 委員会等の構成及び会議の成立要件等, 迅速審査	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 1 2 回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。  
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 ・ 臨床研究に係わる利益相反行為に関するマネジメントの方針及び方法の原案の作成 ・ 臨床研究に係わる利益相反行為への改善措置に関する勧告又は指示の原案の作成 ・ 臨床研究に係わる利益相反行為に関するマネジメントのための調査の実施及びその結果の分析 ・ 情報公開のための原案の作成	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 3 回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 6 回
・ 研修の主な内容 人を対象とする医学系研究に関する倫理指針講習会, 臨床研究のモニタリングに関する講習会	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

MMC総合内科後期研修プログラム, 血液・腫瘍内科専門医取得コース, 消化器専門医養成プログラム, 先端内視鏡・低侵襲インターベンション専門消化器医養成プログラム, 消化器癌先端診療専門医養成プログラム, 呼吸器内科後期専門医プログラム, 糖尿病専門医取得コース, 内分泌・代謝専門医取得コース, 肥満症専門医取得コース, 病態栄養専門医取得コース, 神経内科後期研修プログラム, 外科専門医取得コース, 消化器外科専門医取得コース, 内視鏡外科専門医取得コース, 肝胆膵外科専門医取得コース, 移植外科専門医取得コース, 乳腺専門医取得コース, がんプロフェッショナル養成プラン乳腺外科専門医養成コース, 炎症性腸疾患外科治療教育コース, 腫瘍外科医を目指した大腸がん集学的治療コース, 消化器腹腔鏡外科治療教育コース, 小児外科治療教育コース, 三重大学胸部心臓血管外科advancedcourse, 三重大学胸部心臓血管外科専門医コース, 三重大学呼吸器外科専門医コース, 整形外科後期研修プログラム, 産婦人科後期研修プログラム, 小児科専門医研修プログラム, 脳神経外科後期研修プログラム, 皮膚科後期研修プログラム, 腎泌尿器外科後期研修プログラム, 眼科専門医取得コース, 耳鼻咽喉・頭頸部外科後期研修プログラム, 精神科専門医取得コース, 三重大学家庭医療学プログラム, 放射線科専門医取得コース, 麻酔専門医取得コース, 救命救急・総合集中治療センター 後期研修プログラム, 病理部後期研修プログラム, 形成外科専門医取得コース

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	267人
-------------	------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
小林 哲	呼吸器内科	准教授	26年	
竹井 謙之	消化器・肝臓内科	教授	36年	
山田 典一	循環器内科	准教授	28年	
石川 英二	腎臓内科	講師	22年	
富本 秀和	神経内科	教授	36年	
片山 直之	血液・腫瘍内科	教授	37年	
矢野 裕	糖尿病・内分泌内科	准教授	32年	
楠 正人	消化管・小児外科	教授	37年	
小川 朋子	乳腺外科	教授	28年	
新保 秀人	心臓血管・呼吸器外科	教授	37年	
岡田 元宏	精神科	教授	26年	
須藤 啓広	整形外科	教授	34年	
鈴木 秀謙	脳神経外科	教授	27年	
山中 恵一	皮膚科	准教授	22年	H15. 5. 16-H17. 6. 30 休職
杉村 芳樹	泌尿器科	教授	39年	

池田 智明	産婦人科	教授	34年	
近藤 峰生	眼科	教授	24年	H11. 1. 25-H13. 1. 25 休職
竹内 万彦	耳鼻咽喉科	教授	32年	
佐久間 肇	放射線科	教授	29年	H5. 11. 1-H8. 3. 31休 職
丸山 一男	麻酔科	教授	34年	S62. 4. 29-H1. 6. 14休 職
今井 寛	救急科	教授	33年	
新井 直也	歯科口腔外科	教授	27年	H15. 4. 1-H16. 3. 31休 職
伊佐地 秀司	肝胆膵・移植外 科	教授	38年	
平山 雅浩	小児科	教授	31年	
吉田 利通	病理部	教授	38年	
竹村 洋典	総合診療科	教授	29年	

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
<ul style="list-style-type: none"><li>・研修の主な内容</li><li>・研修の期間・実施回数</li><li>・研修の参加人数</li></ul>
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
<ul style="list-style-type: none"><li>・研修の主な内容</li><li>・研修の期間・実施回数</li><li>・研修の参加人数</li></ul>
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
<ul style="list-style-type: none"><li>・研修の主な内容</li><li>・研修の期間・実施回数</li><li>・研修の参加人数</li></ul>

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

## (様式第5)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 2. 現状
管理責任者氏名	病院長 伊藤 正明
管理担当者氏名	中央放射線部長 佐久間 肇 薬剤部長 奥田 真弘 医療安全管理部長 兼児 敏浩 医療福祉支援センター長 内田 恵一 医学・病院管理部総務課長 山崎 晴夫 医学・病院管理部医事課長 伊藤 敦士

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	各診療科
		各科診療日誌	各診療科
		処方せん	各診療科
		手術記録	各診療科
		看護記録	各診療科
		検査所見記録	各診療科
		エックス線写真	各診療科
		紹介状	各診療科
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課
		高度の医療の提供の実績	医事課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課
		高度の医療の研修の実績	総務課
		閲覧実績	総務課
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課, 薬剤部
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医事課, 医療安全管理部
医療に係る安全管理のための委員会の開催状況		総務課, 医事課, 医療安全管理部	
医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況		総務課, 医事課, 医療安全管理部	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医事課, 医療安全管理部

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一	院内感染対策のための指針の策定状況	総務課, 感染制御部
	第二項	院内感染対策のための委員会の開催状況	総務課, 感染制御部
	第一号	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	総務課, 感染制御部
	第三号	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	総務課, 感染制御部
	に掲げる事項	医薬品安全管理責任者の配置状況	総務課
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	総務課, 薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器安全管理責任者の配置状況	総務課
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	総務課, 臨床工学部
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	経営管理課, 臨床工学部
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学部	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十三第一項第一号から第十五号までに掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	総務課，医療安全管理部
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課，感染制御部
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	総務課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	総務課
		医療安全管理部門の設置状況	総務課，医療安全管理部
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	総務課，医療安全管理部
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	総務課，医療安全管理部，薬剤部
		監査委員会の設置状況	監査チーム，総務課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	各診療科，医療安全管理部
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	[経過措置適用]
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課，医療安全管理部，医療福祉支援センター
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	医事課，医療安全管理部
		職員研修の実施状況	総務課
管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	[経過措置適用]		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
閲覧責任者氏名	病院長 伊藤 正明	
閲覧担当者氏名	医学・病院管理部総務課長 山崎 晴夫	
閲覧の求めに応じる場所	医学・病院管理部総務課総務係	
閲覧の手続の概要		
①規程に定められた閲覧申込書を、原則として閲覧を希望する2週間前までに病院長に提出する。 ②病院長は、前記の申込みを適当と認めるときは、閲覧承認書を交付する。 ③閲覧に際しては、閲覧担当者が立ち会った上で行う。		

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 1 項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 安全管理に関する基本的な考え方</li><li>・ 安全管理のための委員会、その他の医療機関内の組織に関する基本的事項</li><li>・ 安全管理のための職員研修に関する基本方針</li><li>・ 医療機関内における事故報告書等の医療に係る安全確保のための改善策に関する基本方針</li><li>・ 医療事故等発生への対応に関する基本方針</li><li>・ 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針</li><li>・ 患者からの相談への対応に関する指針</li><li>・ その他医療安全の推進のために必要な基本方針</li></ul>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 設置の有無 (有・無)</li><li>・ 開催状況：年134回</li><li>・ 活動の主な内容：</li></ul> <p>○医療安全管理委員会 (年12回) 医事法制に関する事項、医療事故の予防に関する事項、医療事故発生時の対策に関する事項、医事紛争の処理に関する事項、医療訴訟に関する事項、死亡事例及び重症合併症事例に関する事項並びに内部通報窓口 (医療安全ポスト) への投書に関する事項を所掌する。</p> <p>○医療の質・倫理検討委員会 (年15回) 先端医療・高難度新規医療技術、移植医療、医薬品・医療機器の適応外使用等に係る倫理的問題に関する事、終末期医療及び治療拒否等における臨床倫理的問題に関する事、医療安全の確保に資する診療内容のモニタリングに関する事、インフォームド・コンセントの適正な実施についてのモニタリングに関する事並びに職員の医療安全の認識についてのモニタリングに関する事を所掌する。</p> <p>○医療安全会議 (年96回) 医療安全に係る検討及び死亡事例・重症合併症事例の検討を行う。</p> <p>○リスクマネージャー会議 (年11回) 「ヒヤリ・ハット報告」の積極的な収集並びに医療安全管理委員会及び医療安全・感染管理部において決定した事故防止策・対応策等の必要な情報を医療現場に周知徹底する。 各医療現場において、医療事故の原因及び防止方法並びに医療体制の改善方法について、独自に検討及び提言する。 各医療現場において、独自に事故防止のための研修会及び勉強会を開き、医療事故防止のための啓発活動を行う。</p>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 3 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>第 1 回 講演題目「医薬品の安全使用について」 「医療安全について」 「感染対策について」 「医療情報について」 「医療機器について」</p>	

第2回	講演題目「医療事故からの学び」
第3回	講演題目「臨床倫理コンサルテーションの実際」
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機関内における事故報告等の整備 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 )</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容 :</li> </ul> <p>・ ヒヤリハットニュースを発行 (月1回及び必要に応じて随時) し, リスクマネージャー会議を開催することにより, リスクマネージャーを通じて, インシデントレポートから積極的に収集した情報並びに医療安全管理委員会及び医療安全会議において決定した事故防止策・対応策等の必要な情報を医療現場に周知徹底する。</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 1 号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	(有)・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 院内感染対策に関する基本的な考え方</li><li>・ 委員会等の組織に関する基本事項</li><li>・ 職員研修に関する基本方針</li><li>・ 発生状況の報告に関する基本方針</li><li>・ 感染発生対応に関する基本方針</li><li>・ 指針の閲覧に関する基本方針</li><li>・ その他の必要な基本方針</li></ul>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 微生物（耐性菌、CD、感染症法上届け出疾患）の検出状況報告</li><li>・ 職員流行性ウイルス疾患等の発生状況報告</li><li>・ 病棟ラウンド指摘事項報告</li><li>・ 血液培養2セット率報告 ・ 届け出抗菌薬使用状況報告 ・ 手指衛生状況報告</li><li>・ 洗浄・消毒・滅菌に関する内容</li><li>・ 感染症関連の従業員保健に関する内容</li><li>・ 指針・マニュアルの改訂に関する内容</li><li>・ 地域連携、国公立大学病院感染対策協議会の情報共有</li><li>・ 感染症等の最新情報の共有</li></ul>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 3 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>第 1 回 講演題目「医薬品の安全使用について」 「医療安全について」 「感染対策について」 「医療情報について」 「医療機器について」</p> <p>第 2 回 講演題目「抗菌薬適正使用と耐性菌問題～日本が発表した「薬剤耐性アクションプラン」を踏まえて私たちは何をすべきか～」</p> <p>第 3 回 講演題目「安全で衛生的な病院環境を保つために」</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有)・無 )</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 従業者だけでなく、実習生・研修生（外国人を含む）受け入れ時のB型肝炎・流行性ウイルス疾患4種抗体・結核検診検査結果、ワクチン接種状況の提出と管理方法の整備を行い、院内での感染対策強化を行った。</li><li>・ 手指衛生直接観察法を導入し、アルコール手指消毒の実施率の向上へ向けて取り組んでいる。</li></ul>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 2 号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	(有)・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
・ 研修の主な内容： 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書について 医薬品の安全使用について 麻薬の取扱いに関して	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 (有)・無 ) ・ 業務の主な内容： 1. 医薬品の採用・購入に関する事項 2. 医薬品の管理に関する事項(麻薬等の管理方法等) 3. 患者の持参薬歴情報の収集方法 4. 処方箋の記載方法 5. 調剤方法及び監査方法 6. 患者に対する与薬や服薬指導に関する事項 7. 医薬品の安全使用に係る情報の取扱いに関する事項 8 . 他施設(病院等, 薬局等)との関係に関する事項	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有)・無 ) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 【収集方法】 未承認薬：JAPIC海外医薬品添付文書集、安全データシート(SDS)、文献、学会ガイドライン等を参照 適応外使用薬・禁忌薬：JAPIC海外医薬品添付文書集、各医薬品の承認時申請書・審査報告書、文献、学会ガイドライン等を参照 【周知方法等】 ・職員研修会を開催。当日欠席者もe-ラーニング受講が必須。 ・未承認新規医薬品評価委員会にて承認された未承認薬について、薬剤部員で情報共有している(データベース作成、メール送信、処方せんへの印字、担当薬剤師への連絡) 【改善方法等】 ・カルテ端末から、電子医薬品集、最新の添付文書改訂情報、包装変更や供給状況など製薬企業からの情報を全職員が閲覧可能としている。 ・院内報(DI-Weekly、薬剤部ニュース、くすりの適正使用情報)を発行し、配布のほか、職員用エレベーターホールへの掲示、病院ポータルサイトへの掲載を随時行っている。 ・薬剤情報を病棟へ伝達するため病棟薬剤師と医薬品情報室員で週一回ミーティングを実施している。	

(注) 前年度の実績を記入すること。

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 3 号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	○有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年78回
・ 研修の主な内容： 医療機器の有効性・安全性，使用方法，保守点検，不具合が生じた場合の対応，使用に関して特に法令上遵守すべき事項	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 医療機器に係る計画の策定 (○有・無) ・ 保守点検の主な内容： 臨床工学技士による点検とメーカー委託による点検の実施	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集 その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (○有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 【収集方法】 医療機器に係る添付文書等の収集，PMDAメディナビへの登録，医薬品医療機器総合機構への登録により随時配信される医療機器情報の確認，メーカー等からの不具合情報の収集，他大学との連携による医療機器の不具合情報の共有 【周知方法等】 装置毎に添付文書・保守点検マニュアル及び安全性情報を冊子として配布，病院ホームページからの医薬品医療機器総合機構へのリンク，電子カルテの端末からのマニュアル等の閲覧システム，看護師と連携した医療中央管理委員会（年4回開催）における周知，リスクマネージャー会議への情報提供 【改善方法等】 医療機器管理ソフト（院内で管理している医療機器を登録）と機器に取付けたICタグ方式による機器の位置管理システムを導入。このシステムにより医療機器の所在，使用状況，メンテナンス状況がリアルタイムで把握できるようになった。さらに院内の患者カルテ端末より医療機器の運用状況も閲覧できるようになった。	

(注) 前年度の実績を記入すること。

(様式第 6)

規則第 9 条の 23 第 1 項第 1 号から第 15 号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・責任者の資格 (医師)・歯科医師)</p> <p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療安全管理責任者が、医療安全管理部長及び医療安全管理委員会委員長を担っており、これらを統括している。また、医療安全管理委員会には、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者が構成員となっており、医療安全管理責任者が各責任者を統括している。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (4名) ・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>医薬品に係る添付文書等やメーカー、インターネット、文献等から情報を収集し、整理を行った上で、薬剤部発行の院内医薬品情報誌やオンライン医薬品集、薬剤部ホームページへの掲載、必要に応じて院内メールや文書等による通知、病棟担当薬剤師によるカンファレンス等での説明、その他掲示等により周知を行っている。</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>医薬品に係る添付文書等を収集している。また、医療の質・倫理検討委員会で承認された適応外使用について、データベースを作成し薬剤部員で情報共有している。</p> <p>・担当者の指名の有無 (有)・無)</p> <p>・担当者の所属・職種：</p> <p>(所属：薬剤部 医薬品情報室, 職種 薬剤師) (所属： , 職種 )</p> <p>(所属： , 職種 ) (所属： , 職種 )</p> <p>(所属： , 職種 ) (所属： , 職種 )</p> <p>(所属： , 職種 ) (所属： , 職種 )</p>	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有・無
<p>・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (有)・無 )</p> <p>・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容各診療科による実施評価等により、確認を行う。</p>	

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有・無
<p>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：</p> <p>診療録等の管理に関する責任者が診療録等の記載内容を確認するなどにより、適切な管理を行っている。</p>	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有・無
<p>・所属職員：専従（４）名、専任（ ）名、兼任（４）名 ※兼任４名のうち、１名は臨床工学技師  うち医師：専従（１）名、専任（ ）名、兼任（１）名  うち薬剤師：専従（１）名、専任（ ）名、兼任（２）名  うち看護師：専従（２）名、専任（ ）名、兼任（ ）名</p> <p>（注）報告書を提出する年度の１０月１日現在の員数を記入すること</p> <p>・活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 医療の質・倫理検討委員会及び医療安全管理委員会に係る事務に関すること。</li> <li>(2) 「ヒヤリ・ハット報告書」の収集・調査・防止対策及び防止対策の周知徹底に関すること。</li> <li>(3) 医療事故防止・安全管理に係わる病院内の巡視・点検・評価に関すること。</li> <li>(4) 医療事故防止・安全管理に係わる業務改善の提言・指導に関すること。</li> <li>(5) 医療安全に係わる教育・研修・啓発に関すること。</li> <li>(6) 医療事故防止対策マニュアルに関すること。</li> <li>(7) 医療安全会議及びリスクマネージャー会議に関すること。</li> <li>(8) 内部通報窓口（医療安全ポスト）に関すること。</li> <li>(9) 医療安全の確保に資する診療内容のモニタリングに関すること。</li> <li>(10) 職員の医療安全の認識についてのモニタリングに関すること。  ※(9)(10)について、ヒヤリ・ハット報告書の内容確認、病院内の巡視等により実施している。</li> <li>(11) インフォームド・コンセントの適正な実施についてのモニタリングに関すること。</li> <li>(12) 高難度新規医療技術を用いた医療の提供の適否等の決定に係る業務及び規程の遵守状況の確認等に関すること。</li> <li>(13) 死亡事例及び重症合併症事例に関すること。</li> <li>(14) その他医療の安全管理に関すること。</li> </ol> <p>※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。  ※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。</p>	
⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	
<p>・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）</p> <p>・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）</p> <p><b>[経過措置適用]（規程：平成 29 年 3 月 22 日公布，4 月 1 日施行）</b></p>	

・活動の主な内容：

・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）

・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（有・無）（委員会設置：平成29年4月1日）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）

・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）

〔経過措置適用〕（規程：平成29年3月22日公布，4月1日施行）

・活動の主な内容：

・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）

・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（有・無）（委員会設置：平成29年4月1日）

⑨ 監査委員会の設置状況〔経過措置適用〕（平成29年3月9日設置）

有・無

・監査委員会の開催状況：年一回

・活動の主な内容：

・監査委員会の業務実施結果の公表の有無（有・無）（平成28年度は監査委員会の開催無し）

・委員名簿の公表の有無（有・無）

・委員の選定理由の公表の有無（有・無）

・公表の方法：

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）					
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
片山 眞洋	片山法律事務所 弁護士		医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者	有・ <del>無</del>	1
小池 敦	三重県立看護大学 看護学部 教授		医療を受ける者その他の医療従事者以外の者	有・ <del>無</del>	2
鈴木 明	浜松医科大学医学部 附属病院 医療安全管理室 特任講師	○	医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者	有・ <del>無</del>	1
西井 恵子	三重県津保健所 総務企画課 医療監視員		医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者	<del>有</del> ・無	1
原 健二	元三重県警察警視		医療を受ける者その他の医療従事者以外の者	<del>有</del> ・無	2
				有・無	

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

⑩ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 209 件
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 4222 件
- ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容
  - ・医療安全・感染管理部への報告の実施状況を確認させ、確認結果を病院長へ報告させること。
  - ・医療安全・感染管理部への報告の実施状況が不十分な場合には、適切な報告のための職員等への研修及び指導を行わせること。

⑪ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況 [経過措置適用]

- ・他の特定機能病院等への立入り（有（病院名： ）  無）
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（有（病院名： ）  無）
- ・技術的助言の実施状況

⑫ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・体制の確保状況  
患者からの相談に応じる部門として、医療福祉支援センターを設置している。内容が医療安全に係る疑いがある場合は、情報を医療安全管理部門に提供する。

⑬ 医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況

- ・情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（  有・無 ）
- ・窓口を提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関しする必要な定めの有無（  有・無 ）
- ・窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（  有・無 ）

⑭ 職員研修の実施状況 [経過措置適用]

- ・研修の実施状況

⑮ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況 **〔経過措置適用〕**

・ 研修の実施状況

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	① 有・無
・ 評価を行った機関名、評価を受けた時期 日本医療機能評価機構が実施する病院機能評価の認定を受けている。 (2005年7月認定, 2010年更新, 2015年更新)	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	① 有・無
・ 情報発信の方法、内容等の概要 病院ホームページでの情報発信のほか、医学系研究科・附属病院概要など各種広報誌の発行や公開講座の実施など、広く情報発信を行っている。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	① 有・無
・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 がんセンター等で診療科間及び職種を越えた連携によるチーム医療, 集学的治療を推進している。	

(様式第8)

三大医病総第770号  
平成29年10月3日

厚生労働大臣 殿

国立大学法人三重大学  
学長 駒田美弘 (印)

医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について

標記について、次のとおり提出します。

記

1. 管理職員研修（医療に係る安全管理のための研修、管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者向け）を実施するための予定措置

平成30年度より管理職員研修の実施を予定しており、現在、実施方法の検討を行っている。

2. 医療安全管理部門の人員体制

・所属職員：専従（4）名、専任（ ）名、兼任（4）名 ※兼任4名のうち、1名は臨床工学技士  
うち医師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（1）名  
うち薬剤師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（2）名  
うち看護師：専従（2）名、専任（ ）名、兼任（ ）名

3. 医療安全管理部門の専従職員を配置するための予定措置

配置済。